

日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

第70回大会プログラム

2018

平成30年9月

3日(月)・4日(火)



佛教大学

戦後日本教育史

貝塚茂樹

2018年発行 ¥2,700+税

学校と法 [改訂版]

坂田仰・岩橋健定・黒川雅子・山田知代

2016年発行 ¥2,300+税

地域コミュニティと教育

玉井康之・夏秋英房・岩永雅也・
宮田美恵子 2018年発行 ¥2,800+税

現代日本の教師

油布佐和子・岩立京子・佐久間亜紀
元兼正浩 2015年発行 ¥2,700+税

現代の家庭教育

田中理絵・天童睦子・東野充成・
遠藤野ゆり 2018年発行 ¥2,500+税

幼児教育の指導法

師岡章・佐久間路子・田中浩二
2015年発行 ¥2,700+税

生涯学習の新たな動向と課題

立田慶裕

2018年発行 ¥2,800+税

人間発達論特論

住田正樹・田中理絵

2015年発行 ¥3,200+税

現代社会の児童生徒指導

古賀正義・山田哲也・田中理絵
金子真理子 2017年発行 ¥3,100+税

教育学入門 - 教育を科学するとは -

岡崎友典・永井聖二・富江英俊・加藤理
2015年発行 ¥2,600+税

子ども・青年の文化と教育

岩田弘三・谷田川ルミ・岡田佳子・富江英俊
熊田博喜 2017年発行 ¥2,600+税

乳幼児の保育・教育 [新訂]

岡崎友典・梅沢実・井上清美・押元信幸
芦田川祐子 2015年発行 ¥2,300+税

カリキュラム編成論 [改訂版]

田中博之

2017年発行 ¥3,600+税

教育の社会学

近藤博之・岩井八郎・木村涼子・中澤涉
太多和直樹 2015年発行 ¥2,700+税

教育文化の社会学

稲垣恭子

2017年発行 ¥2,600+税

道徳教育の方法

堺正之

2015年発行 ¥2,300+税

道徳教育の理念と実践

押谷由夫・永田繁雄・新井浅浩・諸富祥彦
西野真由美 2016年発行 ¥2,900+税

教育と社会

岩永雅也

2011年発行 ¥2,600+税

カリキュラムと学習過程

浅沼茂・奈須正裕・北村和夫・成田幸夫
久野弘幸 2016年発行 ¥2,700+税

コミュニティ教育論

岡崎友典・玉井康之

2010年発行 ¥2,600+税

●ご希望の方に「図書目録」をお送りします。詳しくは www.ua-book.or.jp



一般財団法人 放送大学教育振興会 TEL 03-3502-2750
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 FAX 03-3592-2482

目次

			(頁)
○大会日程	…	4	
○ご案内	…	5	
○大会会場へのアクセス (佛教学 紫野キャンパス)	…	8	
○大会会場 構内案内図	…	9	
○会場配置図(1号館)	…	10	
◇9月2日(日)	(会場)		(頁)
若手研究者交流会 (16:00~18:00)	1号館4階	13	
◇9月3日(月)			
研究発表 I (9:30~12:00)	(会場)		(頁)
I-1	テーマ部会 知識をグローバルに問い直す	1-301・302	14
I-2	大学適応	1-305・306	15
I-3	大学教員	1-307・308	16
I-4	異文化と教育(1)	1-309	17
I-5	インクルージョン	1-315	18
I-6	グローバリゼーションと教育	1-314	19
I-7	家庭と教育(1)	1-401~403	20
I-8	教育の歴史社会学(1)	1-404・405	21
I-9	計量教育社会学(1)	1-406・407	22
I-10	高校(1)	1-408・409	23
I-11	定時制・通信制高校	1-410・411	24
I-12	進路と教育(1)	1-418	25
I-13	英語特設部会 I Diversity in Education	1-415	26

研究発表Ⅱ (14:10～16:10)	(会場)	(頁)
Ⅱ-1 学校	1-301・302	27
Ⅱ-2 高等教育(1)	1-305・306	28
Ⅱ-3 人の移動と教育	1-307・308	29
Ⅱ-4 教育とアスピレーション	1-309	30
Ⅱ-5 大学とキャリア	1-315	31
Ⅱ-6 学習支援	1-314	32
Ⅱ-7 学力(1)	1-401～403	33
Ⅱ-8 ニューカマー	1-404・405	34
Ⅱ-9 異文化と教育(2)	1-406・407	35
Ⅱ-10 教師教育(1)	1-408・409	36
Ⅱ-11 特別支援教育	1-410・411	37
Ⅱ-12 英語特設部会Ⅱ Educational Policy & Management	1-418	38

研究発表Ⅲ (16:20～18:20)	(会場)	(頁)
Ⅲ-1 教育の歴史社会学(2)	1-301・302	39
Ⅲ-2 青少年	1-305・306	40
Ⅲ-3 教師(1)	1-307・308	41
Ⅲ-4 高等教育(2)	1-309	42
Ⅲ-5 女性の教育レリバンス	1-315	43
Ⅲ-6 教育実践	1-314	44
Ⅲ-7 進路と教育(2)	1-401～403	45
Ⅲ-8 教育問題	1-404・405	46
Ⅲ-9 地域と教育	1-406・407	47
Ⅲ-10 大学進学と大学生	1-408・409	48
Ⅲ-11 高等教育の将来像	1-410・411	49
Ⅲ-12 学力(2)	1-418	50
Ⅲ-13 英語特設部会Ⅲ Teachers	1-415	51

◇9月4日(火)

研究発表Ⅳ (9:30～12:00)	(会場)	(頁)
Ⅳ-1 制度としての教育	1-301・302	52
Ⅳ-2 教師教育(2)	1-305・306	53
Ⅳ-3 高校(2)	1-307・308	54
Ⅳ-4 子ども	1-309	55
Ⅳ-5 貧困と教育	1-315	56
Ⅳ-6 高等教育(3)	1-314	57
Ⅳ-7 若者の困難	1-401～403	58
Ⅳ-8 カリキュラム	1-404・405	59
Ⅳ-9 教師(2)	1-406・407	60
Ⅳ-10 教育と福祉	1-408・409	61
Ⅳ-11 家族と教育(2)	1-410・411	62
Ⅳ-12 不登校	1-418	63
Ⅳ-13 計量教育社会学(2)	1-415	64

課題研究 (13:30～16:30)	(会場)	(頁)
I カリキュラムの社会学のこれからを問う	1-313	65
II 教育の社会科学的実証研究再考—教育社会学と 教育経済学の共通点と相違点から何を学ぶか—	1-415	66
III アクティブラーニングの教育社会学	1-316	67

大会日程

前日：9月2日(日)		
16:00	— 18:00	若手研究者交流会 1号館4階 404-411
第1日：9月3日(月)		
8:45	—	受付 1号館1階エントランスホール
9:30	— 12:00	研究発表Ⅰ・テーマ部会・英語特設部会Ⅰ
12:00	— 12:55	昼食
12:55	— 13:40	総会 1号館3階 1-313
13:40	— 14:05	学会奨励賞 授与式 1号館3階 1-313
14:05	— 14:10	休憩・移動
14:10	— 16:10	研究発表Ⅱ・英語特設部会Ⅱ
16:10	— 16:20	休憩・移動
16:20	— 18:20	研究発表Ⅲ・英語特設部会Ⅲ
18:20	— 18:30	休憩・移動
18:30	— 20:30	懇親会 1号館地下1階食堂
第2日：9月4日(火)		
9:00	—	受付 1号館1階エントランスホール
9:30	— 12:00	研究発表Ⅳ
12:00	— 13:10	昼食
13:30	— 16:30	課題研究Ⅰ 1号館3階 1-313
		課題研究Ⅱ 1号館4階 1-415
		課題研究Ⅲ 1号館3階 1-316

各種会合

前日：9月2日(日)		
15:30	— 17:00	研究委員会 1号館1階第3会議室
17:00	— 18:00	常務会 1号館1階第3会議室
18:00	— 20:00	理事会 1号館1階第3会議室
第1日：9月3日(月)		
12:05	— 12:55	総会打ち合わせ 1号館3階 1-313
第2日：9月4日(火)		
12:05	— 12:50	評議員懇談会 1号館1階中会議室
12:05	— 12:50	課題研究Ⅰ 打ち合わせ 1号館3階 1-313
		課題研究Ⅱ 打ち合わせ 1号館4階 1-415
		課題研究Ⅲ 打ち合わせ 1号館3階 1-316

ご案内

1. 会場

佛教大学・紫野キャンパス

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96

(京都市営地下鉄烏丸線「北大路」駅下車、京都市バス約 10 分)

2. 受付

(3 日) 午前 8 時 45 分より1号館1階エントランスホールで行います。

(4 日) 午前 9 時より1号館1階エントランスホールで行います。

【大会参加費】	<u>オンライン決済</u>	会員(一般):4,500 円	会員(学生):2,000 円
	<u>当日</u>	会員(一般):5,500 円	会員(学生):3,000 円
		臨時会員(一般):6,000 円	臨時会員(学生):3,000 円
【懇親会費】	<u>オンライン決済</u>	会員(一般):4,000 円	会員(学生):2,000 円
	<u>当日</u>	臨時会員(一般):5,000 円	会員(学生):3,000 円
		臨時会員(一般):5,000 円	臨時会員(学生):3,000 円

※会員(学生)、臨時会員(学生)の方は、大会受付で身分証をご提示ください。ご提示がない場合は、それぞれ会員(一般)ないしは臨時会員(一般)の参加費となりますので、ご注意ください。

※オンライン決済の期限は、8月20日(月)とさせていただきます。

【要旨集録】 冊子版か USB 版のどちらかをお選びください。ただし参加者全員分を2種類用意することは難しいため、どちらかがなくなった場合は、ご希望にそえないことをご了解ください。USB を選んだ方のために、閲覧用として冊子版の要旨集録を会員控室にご用意します。

【名札】 受付で名札をお渡しします。所属・氏名をご記入ください。大会期間中の会場内では必ず名札をお付けください。

3. 発表時間

発表時間は、発表者の人数によって下記のようになります。

発表者 1 名……発表 20 分＋質疑応答 5 分

発表者 2 名以上…発表 40 分＋質疑応答 10 分

発表終了 5 分前に1 鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。

4. 欠席の場合

発表者が欠席するときは、大会前日(9月2日)までに必ず、大会実行委員会に E-mail でお知らせください。

発表者が欠席の場合に、発表時間の繰り上げは行いません。

5. 発表者の方へ カラー資料作成の手引き

～色覚バリアフリーの実現にむけて～

本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしやるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等におけるカラー色の使い方の配慮など、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

①赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。

②レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。

③明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。

④輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。

⑤ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。

⑥対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。

(例:この四角い赤のマークは…)

6. 資料のコピー 大会実行委員会によるコピーサービスは行いません。
研究発表用の配布資料等は、各自で必要な部数をご用意ください。
7. 昼食 大会開催中の9月3日(月)・4日(火)、1号館地下1階の食堂は特別メニューにて営業しております。どうぞご利用ください。また、キャンパス近隣の飲食店やコンビニエンスストア等もご利用ください。
8. 会員控室 会員控室(1号館4階・1-420 教室)には、お茶・お菓子等をご用意しております。ご利用ください。
9. クローク 1号館4階 1-419 教室にクロークを設け、お荷物をお預かりします。
ただし、貴重品は携帯してください。
※クロークに預けられた荷物は、3日(月)は 18:30 まで、
4日(火)は 17:00 までに必ずお受け取りください。
10. 一時保育 一時保育のサービスを提供いたします(事前の申込みが必要です)。
詳細は、大会ホームページの実施要領をご覧ください。
11. 懇親会 大会第1日、9月3日(月)18:30より、1号館地下1階食堂で開催
します。懇親会費については5ページをご参照ください。
12. 抜刷・資料交換 抜刷・資料交換コーナーを会員控室内(1号館4階・1-420教室)に
設けます。
13. 書籍販売・ 大会会場では、1号館1階、3階および4階の踊り場スペースに、
企画展示 書籍販売・企画展示を行います。

大会会場へのアクセス (佛教学 紫野キャンパス)



※JR京都駅から市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「北大路」駅下車。京都市バスに乗り換え「佛教学前」もしくは「千本北大路」下車。北大路バスターミナルよりバス約10分。
乗車バスについては下記を参照してください。

出発駅	バス路線	所要時間	乗り換え	徒歩	目的地
JR 京都駅	京都市営地下鉄	12分			
	京都市バス				
	北大路バスターミナル				
	1 西賀茂車庫行 北1 玄球行 北8 松ヶ崎駅行 204 205 206 循環 101 京都駅行 102 金閣寺行 M1 原谷行	10分	北大路	徒歩3分	佛教学前
阪急 大宮駅	京都市バス				
	四条会館				
	205 (B3のりば) 循環 206 (A3のりば) 循環 101 (B2のりば) 金閣寺行	40分	北大路	徒歩3分	佛教学前
JR-地下鉄 二条駅	京都市バス				
	二条駅前				
	6 玄球行 46 上賀茂神社行 206 北大路バスターミナル行	20分 20分	北大路	徒歩3分	佛教学前
JR 円町駅	京都市バス				
	西ノ京四町				
204 北大路バスターミナル行 205 北大路バスターミナル行	15分	北大路	徒歩3分	佛教学前	
京阪 出町柳駅	京都市バス				
	出町柳駅前				
1 西賀茂車庫行 102 金閣寺行	20分 20分	北大路	徒歩3分	佛教学前	

大会会場 構内案内図



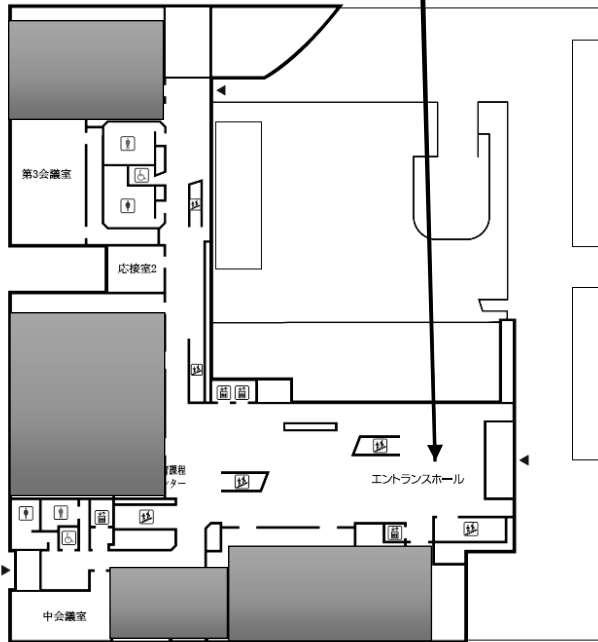
1号館 (大会会場・懇親会会場・各種会合)

正門から構内に入り、正面にある建物です。

佛教大学前バス停からは中庭を抜けたところにあります。

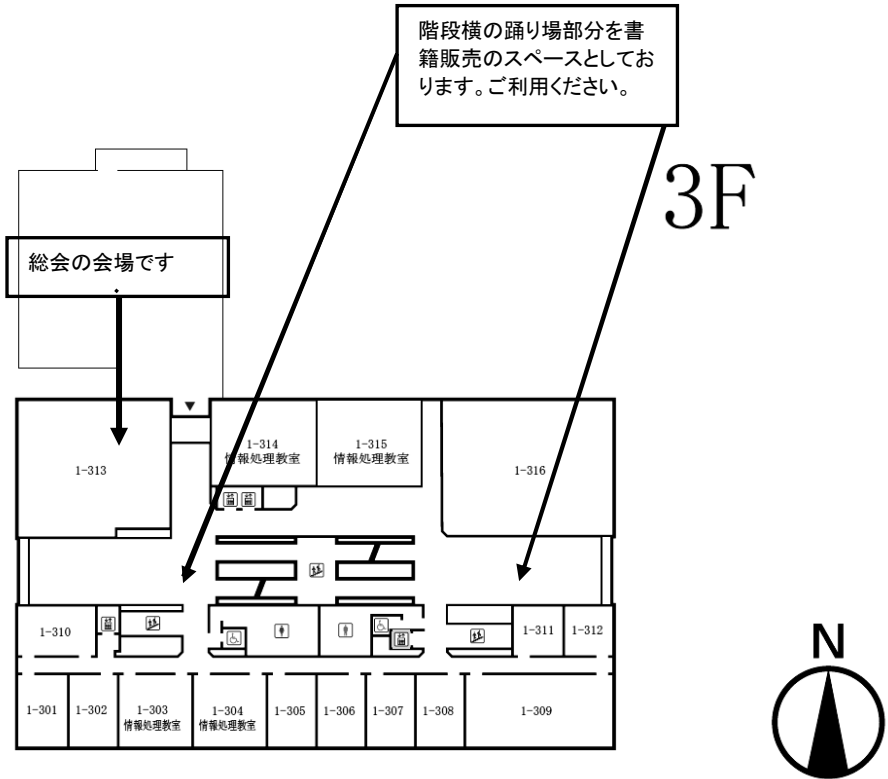
会場配置図（1号館1階）

1号館1階のエントランスホールで大会の受付を行います。研究発表の会場は3階・4階です。受付奥の階段から会場の3・4階に上がってください。受付右奥にエレベーターもございますので、そちらもご利用ください。

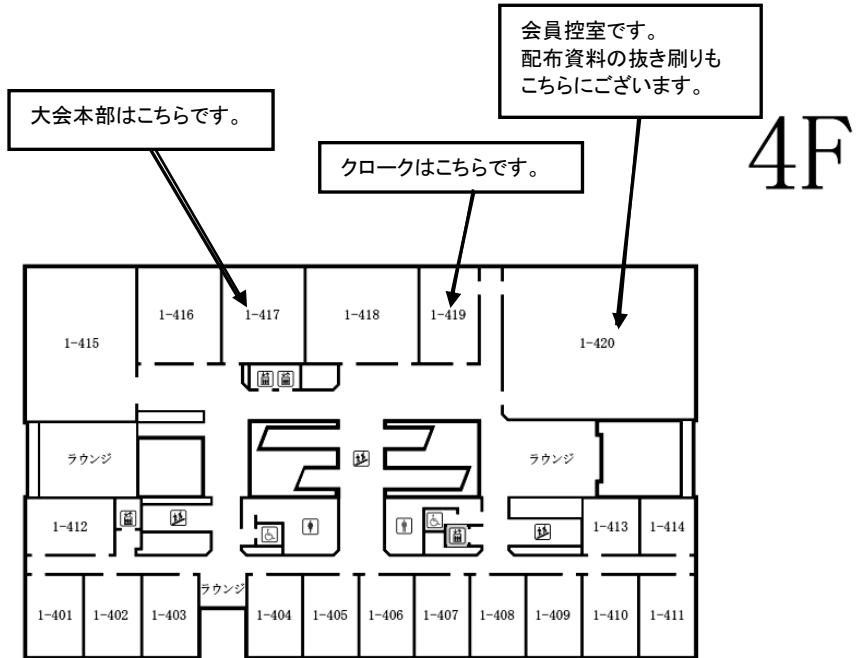


*大会で使用する部屋以外(網掛け部分)への立ち入りはご遠慮ください

会場配置図（1号館3階）



会場配置図（1号館4階）



若手研究者交流会

9月2日(日) 16:00-18:00

会場：佛教大学 1号館4階 1-404・405、406・407、408・409、410・411

例年ご好評いただいている若手研究者交流会を、今年度も大会前日(9月2日(日))に開催します。若手研究者交流会は、大学院生をはじめとする若手の教育社会学研究者が研究上の関心や悩みを共有し、大学・研究室をこえた交流を行うことを目的としています。毎年多くの方々のご参加により、若手研究者が互いの親睦を深め、ネットワークを築く場となっております。

今年度は下記の4つのラウンドテーブルを用意いたしました。参加希望の方々には、いずれか1つのテーブルを選んでご参加いただくこととなります。終了後は、例年通り懇親会を開催する予定です。

参加をご希望の方は、必要事項を記入のうえ、8月23日(木)までに下記の参加申し込み先までEメールでお申し込みください。(※当日の参加も可能ですが、会場・懇親会の予約の都合もありますので、なるべく事前にご連絡ください。)多くのお申し込みをお待ちしています。

【日時】 2018年9月2日(日) 16:00~18:00(終了後に懇親会を予定)

【場所】 佛教大学 1号館4階

【参加対象】 大学院生をはじめとしたキャリアの浅い教育社会学研究者(非会員も可)

【参加費】 無料(※懇親会費は別途ご用意ください。3,500円程度を予定しています。)

【ラウンドテーブル】

1. 女性のキャリア形成を考える 1-404・405 教室
話題提供者：森いつみ(東京大学)
2. 転職者のキャリア形成を考える 1-406・407 教室
話題提供者：小林元気(宮崎公立大学)、竹内正興(鹿児島大学)
3. 海外調査を考える 1-408・409 教室
話題提供者：芦田明美(東京大学)
4. 学校を対象とした臨床学的研究の面白さと危うさを考える 1-410・411 教室
話題提供者：前馬優策(大阪大学)、松岡亮二(早稲田大学)

【連絡先】 jses2018conference@gmail.com(担当：原清治)

<必要事項> Eメールの件名を「若手研究者交流会参加申し込み」とし、本文に、①氏名、②所属(大学院生は学年も)、③会員か非会員かの別、④連絡先(メールアドレス)、⑤参加を希望するラウンドテーブルの番号、⑥懇親会参加の有無を記入してください。

【担当】

教育部 部長：山内乾史(神戸大学)

教育部 副部長：原清治(佛教大学)、北村友人(東京大学)

I - 1 部会

テーマ部会 知識をグローバルに問い直す

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-301・302 教室

司会

渋谷真樹(奈良教育大学)

- 9:30-9:55 1. 情報クラウド時代における知識生成
—持続可能な開発目標(SDGs)形成過程の言説分析から—
山田肖子(名古屋大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 「ポスト真実」時代における人間形成
—ノンフォーマル教育からのアプローチ—
丸山英樹(上智大学)
- 10:20-10:45 3. 〈新しい能力〉の測定に対する批判的検討
中島ゆり(長崎大学)
- 10:45-11:10 4. 批判的フェミニストペダゴジーの展開と可能性
天童睦子(宮城学院女子大学)
- 11:10-11:35 5. カリキュラム論は、社会学(sociology)の名の下どこまで可能か
—近年のマイケル・F・D・ヤングをめぐって—
柳田雅明(青山学院大学)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 2 部会

大学適応

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-305・306 教室

司会

平沢和司(北海道大学)

- 9:30-9:55 1. 進路再選択における価値志向の検討
 —「仮面浪人」に関する量的・質的アプローチから—
 福島由依(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 現代の大学不本意入学者像に関する一考察
 竹内正興(鹿児島大学)
- 10:20-10:45 3. 大学への初年次適応と両親の学歴
 —「第一世代」仮説の検討—
 林川友貴(東京大学大学院・日本学術振興会)
- 10:45-11:10 4. 誰が中退意思を持つのか?
 —社会関係資本に着目して—
 下瀬川陽(東京大学大学院)
- 11:10-11:35 5. 大学生における、居場所の効果
 ○小原一馬(宇都宮大学)
 川崎詩織(栃木県庁)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 3 部会

大学教員

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-307・308 教室

司会

岩田弘三(武蔵野大学)

- 9:30-9:55 1. なぜ中国の女性大学教員は研究を忌避するのか?
付宇倩(広島大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 〈一元化〉されてきた論文数ゼロ
中尾走(広島大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 大学教授へのハローワーク
—大学教授職紹介本の主張—
宇田川拓雄(流通科学大学)
- 10:45-11:35 4. 変貌する大学教授職に関する研究(1)
—1992年、2007年、2017年の全国調査を使って—
○有本章(兵庫大学)
○大膳司(広島大学)
○黄福涛(広島大学)
山本真一(桜美林大学)
山田礼子(同志社大学)
藤村正司(広島大学)
浦田広朗(桜美林大学)
米澤彰純(東北大学)
天野智水(琉球大学)
福留東土(東京大学)
Kim Yangson(広島大学)
村澤昌崇(広島大学)
葛城浩一(香川大学)

11:35-12:00 総括討論

I - 4 部会

異文化と教育（1）

9月3日（月）9：30-12：00

会場：1-309 教室

司会

羽田野真帆（常葉大学）

- 9：30-9：55 1. 「外国人児童」 カテゴリーとその境界
—公立小学校における参与観察調査から—
 藪田直子（大阪大学大学院）
- 9：55-10：45 2. ニューカマー第二世代の適応の様相
—質問紙調査に基づくエスニシティ間比較—
 ○清水睦美（日本女子大学）
 ○児島明（鳥取大学）
 ○角替弘規（静岡県立大学）
 ○坪田光平（職業能力開発総合大学校）
 ○額賀美紗子（東京大学）
 ○三浦綾希子（中京大学）
- 10：45-11：35 3. 公立学校における在日ブラジル人児童生徒の学びを支える家庭 - 学校関係
—群馬県大泉町を事例として—
 ○新藤慶（群馬大学）
 ○上山浩次郎（北海道大学）
 小野寺理佳（名寄市立大学）
 品川ひろみ（札幌国際大学）
 濱田国佑（駒澤大学）
 野崎剛毅（札幌国際大学短期大学部）
- 11：35-12：00 総括討論

I - 5 部会

インクルージョン

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-315 教室

司会

原田琢也(金城学院大学)

- 9:30-9:55 1. 発達障害児支援における支援者のリアリティ
—支援者の葛藤状況に着目して—
保坂克洋(立教大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 「発達障害」をめぐる保育者の活動と実践的イデオロギー
末次有加(大阪総合保育大学)
- 10:20-10:45 3. 平等のための取捨選択?
—特別支援教育におけるトラッキング・障害児の急増および個人化の意味—
二羽泰子(東京大学)
- 10:45-11:10 4. 神話としての〈個体能力論〉を問い直す
—全国校長・教員調査データの分析を中心に—
菊地栄治(早稲田大学)
- 11:10-11:35 5. 「つながり格差」仮説の再考
—学力格差研究の展開に向けて—
志水宏吉(大阪大学)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 6 部会

グローバル化と教育

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-314 教室

司会

五十嵐洋己 (千葉大学)

- 9:30-9:55 1. ユネスコ学習都市構想に関する社会学的研究
 —岡山市へのフィールドワークを含めて—
 赤尾勝己 (関西大学)
- 9:55-10:20 2. 国際化に対応する教育内容の特質と限界
 —国際バカロレア教員と DP 取得者へのインタビュー調査から—
 御手洗明佳 (淑徳大学)
- 10:20-11:10 3. ニューカマー特別枠校の変容と課題
 —大阪府の事例から—
 ○榎井縁 (大阪大学)
 ○棚田洋平 (一般社団法人 部落解放・人権研究所)
 ○林貴哉 (大阪大学大学院)
 ○王一瓊 (大阪大学大学院)
 石川朝子 (帝京大学)
 今井貴代子 (大阪大学)
 比嘉康則 (甲南女子大学 (非常勤))
 山本晃輔 (大阪大学)
- 11:10-12:00 総括討論

I - 7 部会

家族と教育（1）

9月3日（月）9：30-12：00

会場：1-401~403 教室

司会

高橋均（北海道教育大学）

- | | |
|-------------|---|
| 9：30-9：55 | 1. 中国内陸部貧困地域における親の教育戦略
劉薈（中央大学大学院） |
| 9：55-10：20 | 2. 中国における親の教育戦略
—教室内座席を中心として—
金怡甜（東京大学大学院） |
| 10：20-10：45 | 3. 体罰効果論争の現在
山本宏樹（東京電機大学） |
| 10：45-11：10 | 4. 教育の視点からみるシンガポールの少子化問題
SIM CHOON KIAT（昭和女子大学） |
| 11：10-11：35 | 5. 何が外国籍の親と暮らす子どもの高校在学機会を規定しているのか
—2010 年国勢調査個票データを用いた国籍間の比較—
鍛冶致（大阪成蹊大学） |
| 11：35-12：00 | 総括討論 |

I - 8 部会

教育の歴史社会学（1）

9月3日（月）9：30-12：00

会場：1-404・405 教室

司会

井上好人（金沢星稜大学）

- 9：30-9：55 1. 岐阜県恵那地方の就学運動
篠原真紀子（立命館大学大学院）
- 9：55-10：20 2. 教育社会学史における建部社会学の教育論
—教政学は教育社会学なのか—
竹村英樹（慶應義塾大学）
- 10：20-10：45 3. 警察と非行
—占領期から1960年代前半までの非行という用語の使用に着目して—
中山良子（和歌山工業高等専門学校）
- 10：45-11：10 4. 「プチブルジョア」から「小資」へ
—1990年代以降の中国における「小資」言説への社会的分析—
呉江城（京都大学大学院）
- 11：10-11：35 5. 民衆教育機関としての小学校は、日本社会に定着しているのか？
—学校存立の正当性と教育勅語—
柳治男（熊本大学名誉教授）
- 11：35-12：00 総括討論

I - 9 部会

計量教育社会学 (1)

9月3日 (月) 9:30-12:00

会場: 1-406・407 教室

司会

村澤昌崇 (広島大学)

- 9:30-9:55 1. 小中高校生の生活時間の時点間比較
—社会生活基本調査を用いた計量分析—
胡中孟徳 (東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 中学生のマインドセットと学習・進路希望
—JLSCP2017 調査より—
○岡部悟志 (ベネッセ教育総合研究所)
木村治生 (ベネッセ教育総合研究所)
邵勤風 (ベネッセ教育総合研究所)
橋本尚美 (ベネッセ教育総合研究所)
- 10:20-11:10 3. 高校進学と進路意識の変化
—中学生と母親パネル調査 (JLPS-J) 第2波調査の結果から—
○藤原翔 (東京大学)
○西丸良一 (明星大学)
○多喜弘文 (法政大学)
- 11:10-11:35 4. 「教養主義の没落」後の大卒層と読書
渡辺健太郎 (大阪大学大学院)
- 11:35-12:00 総括討論

高校（1）

9月3日（月）9：30-12：00

会場：1-408・409 教室

司会

飯田浩之（筑波大学）

- 9：30-9：55 1. 出身階層・高校階層構造と学習行動
—努力効用認識を通じた関連メカニズムの検討—
山口泰史（東京大学大学院）
- 9：55-10：45 2. 高校格差再考
—高校教師調査2017からの考察—
○武内清（敬愛大学）
○濱嶋幸司（同志社大学）
○黄順姫（筑波大学）
- 10：45-11：10 3. 高校就職指導の現在
—1997年・2007年・2017年の事例調査から—
○堀有喜衣（労働政策研究・研修機構）
小杉礼子（労働政策研究・研修機構）
筒井美紀（法政大学）
尾川満宏（愛媛大学）
小黒恵（東京大学大学院）
- 11：10-11：35 4. 地域人材育成の教育社会学（9）
—高校魅力化プロジェクトと都鄙間高大協働研究の研究—
○樋田大二郎（青山学院大学）
岩木秀夫（日本女子大学）
石戸谷繁（東北女子大学）
西田亜希子（大阪市立大学）
寺崎里水（法政大学）
樋田有一郎（早稲田大学大学院）
藤村朝子（日本女子大学）
沖塩有希子（千葉商科大学）
大木由以（青山学院大学）
- 11：35-12：00 総括討論

I - 1 1 部会

定時制・通信制高校

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-410・411 教室

司会

前田崇(北里大学)

- 9:30-9:55 1. 定時制高校の統廃合に関する考察
鍛冶直紀(大阪大学大学院)
- 9:55-10:20 2. セーフティネットの視点からみる定時制高校
—生徒との関わりについての教師の語りの分析を通じて—
佐川宏迪(京都大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 公立通信制高校における教育支援システムと教師の教育観に関する比較研究
土岐玲奈(埼玉大学(非常勤))
- 10:45-11:35 4. なぜ通信制高校は増えたのか
—私立校の設置認可行政に着目して—
○内田康弘(愛知教育大学・日本学術振興会)
○神崎真実(立命館大学)
土岐玲奈(埼玉大学(非常勤))
○濱沖敢太郎(鹿児島大学)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 1 2 部会

進路と教育（1）

9月3日（月）9：30-12：00

会場：1-418 教室

司会

中西啓喜（早稲田大学）

- 9：30-9：55 1. 高卒後の長期学位留学志向の形成要因
 小林元気（神戸大学大学院）
- 9：55-10：20 2. 地域移動を伴う地方高卒就職者のキャリア形成
 吉田美穂（弘前大学）
- 10：20-11：10 3. 仕事や日常生活におけるスキル活用の実態
 —高卒パネル調査（JLPS-H）の分析から—
 ○佐藤香（東京大学）
 ○元治恵子（明星大学）
 山口泰史（東京大学大学院）
- 11：10-11：35 4. コミュニケーション能力による評価に対する意識の構造
 太田昌志（東京大学）
- 11：35-12：00 総括討論

I - 1 3 部会

英語特設部会 I Diversity in Education

9月3日(月) 9:30-12:00

会場: 1-415 教室

司会

Masaki SEO (Ibaraki University)

&

Tomoko TOKUNAGA (Gunma Prefectural Women's University)

- 9:30-9:55 1. Mainstreaming Education in the Diverse Society: Implication from the Dutch Urban Deprived Schools
Kanako SUEOKA (Graduate School of Osaka University)
- 9:55-10:20 2. A Preliminary Analysis of the Social Phenomenon of “Youth Precariat” in Taiwan
Ying-Jie JHENG (National Taiwan Sport University)
- 10:20-10:45 3. A Study on Indigenous Knowledge and Schooling
Kent CHENG (National Chung Cheng University)
- 10:45-11:10 4. What Concerns the Sociologists of Education in China during the Past Decade: A Comprehensive Review
Liang DU (Beijing Normal University)
- 11:10-11:35 5. Sustainability, Capability and Eco-justice Pedagogy
Chun-Ping WANG (National Taipei University of Education)
- 11:35-12:00 総括討論

Ⅱ－１部会

学校

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-301・302 教室

司会

志水宏吉（大阪大学）

- 14：10－14：35 1. いじめが起りやすい要因
—子どもの社会経済的地位と学校環境—
真田英毅（東北大学大学院）
- 14：35－15：00 2. 中学校における生徒のキャラの切り替え実践
梅田崇広（広島大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 部活動指導という舞台
—中学校教員を対象とした全国調査の分析結果より—
○内田良（名古屋大学）
上地香社（名古屋大学大学院）
加藤一晃（名古屋大学大学院）
野村駿（名古屋大学大学院）
太田知彩（名古屋大学大学院）
- 15：25－15：50 4. 避難を続ける福島県の中学校の「ふるさと創造学」における
学習共同体の役割
濱元伸彦（京都造形芸術大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－２部会

高等教育（１）

９月３日（月） 14：10－16：10

会場：1-305・306 教室

司会

二宮祐（群馬大学）

- 14：10－14：35 1. アメリカ研究大学の博士課程における学生と教員の相互作用
—全米研究協議会(NRC)による大学院生調査 2006 年より—
相原総一郎（芝浦工業大学）
- 14：35－15：00 2. 大学を超えた学士課程プログラム
—共同獣医学プログラムの取組から—
原田健太郎（島根大学）
- 15：00－15：25 3. 日本の大学における外国語専門教育の変容
—競争と分化の視点から—
張韜（同志社大学大学院）
- 15：25－15：50 4. 教育現実はどのように記述されるのか
—大学生による量的データの読みとり事例から—
石黒万里子（東京成徳大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－３部会

人の移動と教育

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-307・308 教室

司会

山ノ内裕子（関西大学）

- 14：10－14：35 1. モンゴル国における家庭の教育関与と養育者のネットワークに関する研究
—首都ゲル地区の貧困層を対象として—
中村絵里（東京大学大学院）
- 14：35－15：00 2. ドイツにおける移民の社会統合をめぐる問題
—中国系移民とベトナム系移民への着目から—
布川あゆみ（東京外国語大学）
- 15：00－15：25 3. 日系ブラジル人のデカセギはなぜ続くのか
—世代間生活史の分析から—
山本晃輔（大阪大学）
- 15：25－15：50 4. グローバル化するリッチ・フライト
—アメリカ・ハワイとマレーシア・南ジョホールに移住する日本人家族の
教育戦略の比較研究—
五十嵐洋己（千葉大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－４部会

教育とアスピレーション

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-309 教室

司会

片瀬一男（東北学院大学）

- 14：10－14：35 1. 中国農村中学校の生徒文化研究
—「後列席」の男子中学生に着目して—
劉麗鳳（日本大学文理学部）
- 14：35－15：00 2. 中国の山東省における高校生の学習意欲の形成
張慶怡（広島大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 親の関与と中学生の成績および進学期待に関する実証分析
大谷碧（慶應義塾大学）
- 15：25－15：50 4. ひとり親家庭に育つ高校生の進学アスピレーションは低いのか
松川誠一（東京学芸大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－５部会

大学とキャリア

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-315 教室

司会

大島真夫（東京理科大学）

- 14：10－14：35 1. 出身学部は所得にいかなる影響をもたらすか？
豊永耕平（東京大学大学院・日本学術振興会）
- 14：35－15：00 2. 所属大学に対する期待感が大卒就職市場における企業選択にもたらす影響
峯俊洸大（北海道大学大学院）
- 15：00－15：50 3. 大学のキャリア教育と雇用との関係
—就業形態の推移に着目して—
○新谷康浩（横浜国立大学）
○真鍋倫子（中央大学）
○猪股歳之（東北大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－6 部会

学習支援

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-314 教室

司会

腰越滋（東京学芸大学）

- 14：10－14：35 1. 学習支援事業において構築される社会的紐帯
—社会関係資本論からの考察—
川崎妙美（東京外国語大学大学院）
- 14：35－15：00 2. 学習支援員の配置状況と教師の負担軽減
須藤康介（明星大学）
- 15：00－15：25 3. 学習塾研究
—新たな研究資源—
渡邊稔（わたなべ総合教育研究所）
- 15：25－15：50 4. 学習態度の変容をもたらす公立中学校の取り組み
数実浩佑（大阪大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－7部会

学力（1）

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-401～403 教室

司会

山崎博敏（兵庫大学）

- 14：10－14：35 1. 日本における学力研究のシステムティックレビューの試み
藤井宣彰（県立広島大学）
- 14：35－15：00 2. 小中学生における学業成績の多様性と家庭環境の差異
高木誠一（国際武道大学）
- 15：00－15：25 3. 学力の階層間格差の経年変化に関する基礎分析
—関西X市における小・中学生へのパネル調査から—
○中村瑛仁（大阪大学）
志水宏吉（大阪大学）
- 15：25－15：50 4. 生徒と教員の性別の組み合わせが成績に与える影響の検証
柿澤寿信（大阪大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－８部会

ニューカマー

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-404・405 教室

司会

鍛治致（大阪成蹊大学）

- 14：10－14：35 1. 学齢を超過したニューカマー生徒の日本の学校システムへの受け入れに関する考察
—「多文化フリースクール」におけるフィールド調査から—
広崎純子（NPO 法人 多文化フリースクールちば）
- 14：35－15：00 2. ニューカマー生徒支援を担う教師の困難と可能性
伊藤莉央（大阪大学大学院）
- 15：00－15：25 3. ブラジル人学校における在日ブラジル人児童生徒の学びを支える家庭－学校関係
—群馬県大泉町を事例として—
○濱田国佑（駒澤大学）
小野寺理佳（名寄市立大学）
品川ひろみ（札幌国際大学）
新藤慶（群馬大学）
野崎剛毅（札幌国際大学短期大学部）
上山浩次郎（北海道大学）
- 15：25－16：10 総括討論

Ⅱ－９部会

異文化と教育（２）

９月３日（月） 14：10－16：10

会場：1-406・407 教室

司会

角替弘規（静岡県立大学）

- 14：10－14：35 1. 公立保育所における在日ブラジル人児童生徒の育ちを支える家庭－保育所関係
－群馬県大泉町を事例として－
○野崎剛毅（札幌国際大学短期大学部）
品川ひろみ（札幌国際大学）
小野寺理佳（名寄市立大学）
新藤慶（群馬大学）
濱田国佑（駒澤大学）
上山浩次郎（北海道大学）
- 14：35－15：00 2. 「新二世」のトランスナショナルな生活経験とエスニシティ
－グアムの日本人青年を事例に－
芝野淳一（大阪成蹊大学）
- 15：00－15：25 3. 移民の子どもの進路と教育システム
－在韓モンゴル籍児童・生徒の学業達成と進路選択の分析から－
崔佳英（東京大学）
- 15：25－15：50 4. 日本語学習者の語り
－フレーム分析にみる関係性の構築－
佐川祥予（大阪大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－１０部会

教師教育（１）

９月３日（月） 14：10－16：10

会場：1-408・409 教室

司会

富江英俊（関西学院大学）

- 14：10－14：35 1. 「教員採用試験」の誕生と展開
一戦後初期の東京都を事例として—
前田麦穂（東京大学大学院）
- 14：35－15：25 2. 教員養成学部における就職支援の利用実態と教育効果
○酒井真由子（上田女子短期大学）
○河野誠哉（山梨学院大学）
○西朋子（信州大学）
○山口美和（上越教育大学）
越智康詞（信州大学）
紅林伸幸（常葉大学）
- 15：25－15：50 3. 教員免許更新制の光と影
○山田浩之（広島大学）
伊勢本大（愛媛大学）
周正（広島大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－１１部会

特別支援教育

9月3日（月）14：10－16：10

会場：1-410・411 教室

司会

木村祐子（東京成徳大学）

- 14：10－14：35 1. インクルーシブ教育実践における特別支援学級籍児童の学校経験
—フーコーの監視のメカニズムに着目して—
伊藤駿（大阪大学大学院）
- 14：35－15：00 2. 授業場面における合理的配慮の複層性
—個別支援と一斉指導を架橋する実践を中心に—
佐藤貴宣（日本学術振興会）
- 15：00－15：25 3. 共に学ぶ実践における「配慮」の妥当性
—子ども同士の相互作用を起点として—
久保田裕斗（京都大学大学院）
- 15：25－15：50 4. オーストラリア・クイーンズランド州の多層的なインクルーシブ教育
システムとその実践
—日本の二元的システムとイギリスの一元的システムとの比較を通して—
○原田琢也（金城学院大学）
濱元伸彦（京都造形芸術大学）
竹内慶至（名古屋外国語大学）
- 15：50－16：10 総括討論

Ⅱ－1 2部会

英語特設部会Ⅱ Educational Policy & Management

9月3日(月) 14:10-16:10

会場: 1-418 教室

司会

Min LI (Shinshu University)

&

Choon Kiat SIM (Showa Women's University)

- 14:10-14:35 1. Influences of Government and Market Mechanisms on the Development of Teacher Education Institutions in Taiwan
Chou-Sung YANG (National Chi-Nan University)
- 14:35-15:00 2. Educational Reform in New Zealand and "Ethnoscape": New Liberalism and Maori History
Jun KATO (Aichi University)
- 15:00-15:25 3. Networking for Constructing Small Scale School in Rural China
Jing LIU (University of Tokyo)
- 15:25-15:50 4. Health and Sexuality Education for Rural Girls in China: Action and Reflection
Lili ZHANG (Beijing Normal University)
- 15:50-16:10 総括討論

Ⅲ－１部会

教育の歴史社会学（２）

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-301・302教室

司会

河野誠哉（山梨学院大学）

- 16：20－16：45 1. ホンジュラス共和国初等教育における歴史的社会的背景と修学実態の関連
—修学パターンからの考察—
芦田明美（東京大学）
- 16：45－17：10 2. 訓練の記述からみる教師の児童観
—大正期愛媛県内小学校「人別表」に着目して—
水谷智彦（尚綱大学）
- 17：10－17：35 3. 大学紛争の前史としての戦後キリスト者学生運動
齋藤崇徳（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）
- 17：35－18：00 4. 「炭鉱の学校」における集団主義教育の成立
—尺別炭砦小学校を事例に—
笠原良太（早稲田大学大学院）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－２部会

青少年

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-305・306 教室

司会

居郷至伸（帝京大学）

- 16：20－16：45 1. 夢追い人のライフコース形成における家族の影響
—バンドマンを対象とした質的調査をもとに—
野村駿（名古屋大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 地方出身ゲイ男性のトランジション
横山陸（一橋大学大学院）
- 17：10－17：35 3. 同和教育の経験を若者はどう捉えているか
—Voice/Silence の枠組みから—
澤井未緩（大阪大学大学院）
- 17：35－18：00 4. 若者の就労不安とライフコース認識
—内閣府若者 Web 調査の分析から—
古賀正義（中央大学）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－３部会

教師（１）

９月３日（月）１６：２０－１８：２０

会場：１-307・308 教室

司会

西本裕輝（琉球大学）

- １６：２０－１６：４５ １．「ビジネスライクなところの違和感、あります」
—言語教育の商品化と消費、その中にいる教師の葛藤とその克服—
瀬尾匡輝（茨城大学）
- １６：４５－１７：１０ ２．保護者とのかかわりにおける戦略
—「しんどい」学校の教師に注目して—
山口真美（大阪大学大学院）
- １７：１０－１７：３５ ３．戦後日本における教師をめぐる語りの変容
—新聞社説に着目して—
周正（広島大学大学院）
- １７：３５－１８：００ ４．質的調査法による教師研究のアプローチ
—教師ナラティブへの着目と可能性—
白松賢（愛媛大学）
- １８：００－１８：２０ 総括討論

Ⅲ－４部会

高等教育（２）

９月３日（月）１６：２０－１８：２０

会場：１－３０９教室

司会

相原総一郎（芝浦工業大学）

- １６：２０－１６：４５ １．若手社会人の社会観と学生時代の経験
二宮祐（群馬大学）
- １６：４５－１７：１０ ２．グローバルビジネス環境で必要とされる能力とは
—海外で就労する大学卒業生へのインタビュー調査から—
岡嶋裕子（大阪大学）
- １７：１０－１７：３５ ３．日本人学生の海外留学動機の形成
—学修成果の制度的保証にむけて—
正楽藍（神戸大学）
- １７：３５－１８：００ ４．「国立研究機関（ＡＮＲ）」とその役割
白鳥義彦（神戸大学）
- １８：００－１８：２０ 総括討論

Ⅲ－５部会

女性の教育レリバンス

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-315 教室

司会

山田礼子（同志社大学）

- 16：20－16：45 1. 中東湾岸諸国における大学の機能とジェンダー
沈雨香（早稲田大学）
- 16：45－17：10 2. 女子大学の学士（経営学）課程修了者の就職活動満足度を規定する要因について
小森亜紀子（昭和女子大学）
- 17：10－17：35 3. 女性の教育歴とスキル形成
—資格取得の分析—
佐野和子（京都大学大学院）
- 17：35－18：00 4. ”大学教育と仕事との関連度” の効果と規定要因
—男女差に注目して—
本田由紀（東京大学）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－6 部会

教育実践

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-314 教室

司会

鈴木雅博（常葉大学）

- 16：20－16：45 1. 学校における農業体験学習はいかに可能か
—教師と農家と児童の3者関係に着目して—
渡邊綾（一橋大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 小学校教員の指導方法に関する社会学的研究
—学級活動と授業に着目して—
片岡倫崇（広島大学大学院）
- 17：10－17：35 3. 「協同学習」場面における教師の発話管理と児童の学び
今井聖（立教大学大学院）
- 17：35－18：00 4. 家庭訪問の現代的機能
—京都市公立教員へのインタビュー調査から—
大久保遥（京都大学大学院）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－7 部会

進路と教育（2）

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-401～403 教室

司会

元治恵子（明星大学）

- 16：20－16：45 1. 親の子育て意識と子どもの将来意識からみる「自立」観
—高卒パネルインタビューデータの分析—
小山田建太（筑波大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 高校進学時の学科選択が職業生活とその意識に及ぼす影響
—職業・処遇と意識の乖離をめぐって—
山田宏（一橋大学大学院）
- 17：10－17：35 3. トラッキングの弛緩仮説の検証
中西啓喜（早稲田大学）
- 17：35－18：00 4. 中学受験における学校選択に関する記述の変容
—メディアは進学校と大学付属校をどうみてきたか—
松本暢平（千葉大学）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－８部会

教育問題

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-404・405 教室

司会

内田良（名古屋大学）

- 16：20－16：45 1. 児童虐待問題の変遷に関する一考察
—1980年以降の毎日新聞の記事に焦点をあてて—
井上剛男（鈴鹿大学短期大学部）
- 16：45－17：10 2. 学校に対する保護者の「意見・要望」における社会学理論の可能性
—既存理論における視座に着目して—
山本達人（東京大学大学院）
- 17：10－17：35 3. キョウゴ・モデルにおける「共生」の効果
—教護院・児童自立支援施設を退所した子ども達の「その後の人生」—
武千晴（日本女子大学）
- 17：35－18：00 4. 非行からの立ち直りににおける復学と登校継続
大江將貴（京都大学大学院）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－９部会

地域と教育

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-406・407教室

司会

中島ゆり（長崎大学）

- 16：20－16：45 1. 地域移動と教育達成
片瀬一男（東北学院大学）
- 16：45－17：10 2. 出身大学所在地における就職・採用
—地域教育の可能性と課題—
小山治（京都産業大学）
- 17：10－17：35 3. 地域人材育成の教育社会学（8）
離島・中山間地域にU・Iターンした高学歴/職歴の高校コーディネーター
—ポスト立身出世主義の自己実現—
西田亜希子（大阪市立大学）
- 17：35－18：00 4. 東日本大震災から7年後の学校文化
—震災からの自由/忘却への戸惑い—
松田洋介（金沢大学）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－１０部会

大学進学と大学生

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-408・409 教室

司会

濱中義隆（国立教育政策研究所）

- 16：20－16：45 1. 進学先としての短期大学とは
—短期大学生調査からみた学生の意識—
○堺完（立教大学）
山崎慎一（桜美林大学）
宮里翔大（桜美林大学大学院）
黄海玉（短期大学基準協会）
- 16：45－17：10 2. 公立大学転換における高校進路指導の影響
永野拓矢（名古屋大学）
- 17：10－17：35 3. 大学進学者から見た大学同士の距離による国公立大学理工系学部の
“見え方”の考察
○北村優大（横浜国立大学大学院）
額田順二（横浜国立大学）
- 17：35－18：00 4. 戦後日本における学生像の変化
山本優（広島大学大学院）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－１１部会

高等教育の将来像

9月3日（月）16：20－18：20

会場：1-410・411教室

司会

大膳司（広島大学）

- 16：20－16：45 1. ボーダーフリー大学における学士課程教育の質保証の実現可能性
—実現を促進する要因についての検討—
葛城浩一（香川大学）
- 16：45－17：10 2. 私学助成は定員割れ大学を延命させるのか
松宮慎治（神戸学院大学）
- 17：10－17：35 3. 高等教育における知識と財
—マージンソンの議論に日本としてどう向き合うか？—
米澤彰純（東北大学）
- 17：35－18：00 4. 学問の自由の危機
—授業における自由はだれのためのものか？—
羽田貴史（東北大学）
- 18：00－18：20 総括討論

Ⅲ－１２部会

学力（２）

９月３日（月）１６：２０－１８：２０

会場：１-418 教室

司会

古田和久（新潟大学）

- １６：２０－１７：１０ １． 学力格差の形成過程と学校の取り組み
—二つの異なる社会経済背景を持つ中学校区の低学力層の比較から—
○若槻健（関西大学）
○知念渉（神田外語大学）
伊藤駿（大阪大学大学院）
伊藤莉央（大阪大学大学院）
数実浩佑（大阪大学大学院）
川畑和久（大阪大学大学院）
中村誠吾（大阪大学大学院）
西徳宏（大阪大学）
志水宏吉（大阪大学）
- １７：１０－１７：３５ ２． 学校教科書の使用頻度と成績との関連
黒河内利臣（武蔵野大学）
- １７：３５－１８：００ ３． 小学生の学力と母親の教育期待
—TIMSS2015のデータを用いた分析—
鳶島修治（群馬大学）
- １８：００－１８：２０ 総括討論

Ⅲ－13部会

英語特設部会Ⅲ Teachers

9月3日(月) 16:20-18:20

会場: 1-415 教室

司会

Hiroyuki YAMADA (Hiroshima University)

&

Tomokazu OBA (Osaka University of Commerce)

- 16:20-16:45 1. The Teacher-Student Relationship in Tokyo Higher Normal School through the Life History of Chinese Student
Ju YANG (Graduate School of Hiroshima University)
- 16:45-17:10 2. Why do Teachers Need System of Teacher Professional Development: A Perspective from Duality of Structure
Jia-Li HUANG (National Taiwan Normal University)
- 17:10-17:35 3. Panopticon and the Role of Teachers in Taiwan
Bo-Ruey HUANG (Chinese Culture University)
- 17:35-18:00 4. Second Language Learning Integrated with the Concept of the Flipped Classroom Approach: Implications for Higher Education in Taiwan
Ying-Hsuan CHEN (National Taipei University of Education)
- 18:00-18:20 総括討論

IV－1 部会

制度としての教育

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-301・302 教室

司会

越智康詞（信州大学）

- 9：30－9：55 1. 「高卒当然社会」の成立とそのゆくえ
—日本と東アジア諸国の比較検討から—
○相澤真一（中京大学）
香川めい（大東文化大学）
児玉英靖（洛星中学・高等学校）
- 9：55－10：20 2. 教育の政策と制度における卓越性と公平性の実現のジレンマ
—日本・台湾・カナダの比較から—
劉語霏（中國文化大學 (Chinese Culture University)）
- 10：20－10：45 3. 教育における「リベラリズム」論の可能性
大橋隆広（広島女学院大学）
- 10：45－11：10 4. 「学校＝パノプティコン」観の再検討
—学校建築の展開から考える—
牧野智和（大妻女子大学）
- 11：10－11：35 5. 標準原理・能力原理・必要原理
—教育機会確保法の来歴を考えるための試論—
高山龍太郎（富山大学）
- 11：35－12：00 総括討論

IV－2部会

教師教育（2）

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-305・306教室

司会

太田拓紀（滋賀大学）

- 9：30－9：55 1. 教員志望学生の進路選択時における地域移動を規定する要因
—家族に対する規範意識に注目して—
富江英俊（関西学院大学）
- 9：55－10：45 2. 教育実習における学修に関する日伊比較研究
—経験内容、力量・態度、意識の変容—
○川村光（関西国際大学）
○紅林伸幸（常葉大学）
○長谷川哲也（岐阜大学）
- 10：45－11：10 3. 教職大学院に教師はなぜ入り、そこで何を学ぶのか
—教職大学院で学んだ教師のインタビューから—
古舘裕之（早稲田大学大学院）
- 11：10－11：35 4. 学力格差を是正する教員文化はどのように継承されるのか
西徳宏（大阪大学大学院）
- 11：35－12：00 総括討論

IV－3 部会

高校（2）

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-307・308 教室

司会

樋田大二郎（青山学院大学）

- 9：30－9：55 1. 公立進学高校をめぐる政策動向
—2000年以降の教育委員会施策に着目して—
 富田知世（大月市立大月短期大学）
- 9：55－10：20 2. 京都市立高校の学校改革
—学校改革における教育行政の指導と現場教職員の教育論議の関係—
 秋山吉則（佛教大学大学院）
- 10：20－10：45 3. 普通科高校福祉コースの専門教育に関する生徒の意識
—専門教育に注力する二地域の比較を通じて—
 小黑恵（東京大学大学院）
- 10：45－11：10 4. 卒業者が語る高校職業教育
—初期キャリア形成にみる学校－職業の接続／断絶—
 尾川満宏（愛媛大学）
- 11：10－11：35 5. 文化部はなぜ縮小したのか？
—必修クラブ導入にみる高校部活動の再編—
 加藤一晃（名古屋大学大学院）
- 11：35－12：00 総括討論

IV-4 部会

子ども

9月4日(火) 9:30-12:00

会場: 1-309 教室

司会

田中理絵(山口大学)

- 9:30-9:55 1. 子どもの「発達」に対する保育者の解釈と実践
—「外国にルーツをもつ子ども」のいる保育園でのエスノグラフィー—
長江侑紀(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 時間規律の社会化過程
—ある認定こども園のルーティンの転換に着目して—
大久保心(慶應義塾大学大学院)
- 10:20-11:10 3. 学校的社会化の諸相(6)
—幼稚園における「規則」と「一斉教授」に着目して—
北澤毅(立教大学)
○小野奈生子(共栄大学)
○山田鋭生(共栄大学)
○粕谷圭佑(立教大学大学院)
- 11:10-11:35 4. 家族への視点から捉える非行からの立ち直り
—更生保護施設在所者への追跡調査を事例として—
都島梨紗(岡山県立大学)
- 11:35-12:00 総括討論

IV－5 部会

貧困と教育

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-315 教室

司会

高田一宏（大阪大学）

- 9：30－9：55 1. 中国の義務教育費における格差の解消
馬楽（広島大学）
- 9：55－10：20 2. 中国における奨学金政策の効果分析
—地方A大学2017調査を用いて—
王帥（東京大学）
- 10：20－10：45 3. 中学校における学校運営と就学援助制度
—2017年学校調査による実証的分析—
○白川優治（千葉大学）
菊地栄治（早稲田大学）
- 10：45－11：35 4. 教育の「剥奪(deprivation)」をどう補足・改善するか
—日本における子どもの貧困調査データベースの比較を通じて—
○末富芳（日本大学）
○柘澤利也（早稲田大学大学院）
- 11：35－12：00 総括討論

IV－6 部会

高等教育（3）

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-314 教室

司会

浦田広朗（桜美林大学）

- 9：30－9：55 1. 養護教諭における教育系・医療系出身の比較
篠原清夫（三育学院大学）
- 9：55－10：20 2. 卒業生調査に基づく6年制専門職制度の検証
—薬学教育の事例を中心に—
○日下田岳史（大正大学）
矢野眞和（東京薬科大学）
- 10：20－10：45 3. 音楽系大学における学生の大学教育観
—学生・卒業生への聞き取り調査をもとに—
喜始照宣（園田学園女子大学）
- 10：45－11：10 4. 福祉系学生・卒業生の専門職志向と地元志向の就業地選択への影響
廣森直子（青森県立保健大学）
- 11：10－12：00 総括討論

IV-7 部会

若者の困難

9月4日(火) 9:30-12:00

会場: 1-401~403 教室

司会

知念渉(神田外語大学)

- 9:30-9:55 1. 野中一也と同和教育問題
芦名猛夫(京都橘大学)
- 9:55-10:20 2. 地区から転出した卒業生の自己概念の考察
—部落解放研卒業生の追跡調査より—
大橋真(大阪大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 児童養護施設入所経験者受け入れ大学・短期大学における
「支援」の拡大と限界
—教職員を対象としたインタビュー調査から—
西本佳代(香川大学)
- 10:45-11:35 4. 奨学金受給による生活状況の相違
—JHPS 第2世代追跡調査データに基づく実証分析—
赤林英夫(慶應義塾大学)
○王傑(東京大学)
○小林雅之(東京大学)
佐野晋平(千葉大学)
- 11:35-12:00 総括討論

IV－8 部会

カリキュラム

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-404・405 教室

司会

岡本智周（早稲田大学）

- | | |
|-------------|---|
| 9：30－9：55 | 1. 戦後の中学校・高等学校保健体育科用教科書における性知識の変遷
反橋一憲（早稲田大学大学院） |
| 9：55－10：20 | 2. 高校教科書の判型変化に関する研究
—編集者へのインタビュー調査から—
小原明恵（東京大学大学院） |
| 10：20－10：45 | 3. 公立中学校における「社会科」の主体的学習
岡本久美子（名古屋市立菟山中学校） |
| 10：45－11：10 | 4. 小学校「道徳」にみる家族とジェンダー
神原文子（神戸学院大学） |
| 11：10－11：35 | 5. なにゆえに「教科等を学ぶ意義」が求められるのか
—次期学習指導要領改訂をめぐる社会的視点に着目して—
山田美都雄（琉球大学） |
| 11：35－12：00 | 総括討論 |

IV－9 部会

教師（2）

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-406・407 教室

司会

白松賢（愛媛大学）

- 9：30－9：55 1. 「教育格差」を教えない教職課程
松岡亮二（早稲田大学）
- 9：55－10：45 2. 高校教師の教育観・改革観を規定する要因
—高校教師調査2017からの考察—
○西本裕輝（琉球大学）
○馬居政幸（静岡大学名誉教授）
武内清（敬愛大学）
- 10：45－11：35 3. 教師文化（教職観、同僚性・協働性、実践スタイル）と
自信・仕事満足・バーンアウトの関連構造
—第2回教師調査と第1回一般人調査（2018年3月実施）の結果に基づいて—
○藤田英典（共栄大学）
○山田真紀（椋山女学園大学）
玉井航太（北海商科大学）
鈴木悠太（東京工業大学）
和井田節子（共栄大学）
- 11：35－12：00 総括討論

IV-10部会

教育と福祉

9月4日(火) 9:30-12:00

会場: 1-408・409 教室

司会

倉石一郎(京都大学)

- 9:30-9:55 1. がん患者の就労支援の現状と課題
 —医療・労働・ケアの相互連関に注目して—
 居郷至伸(帝京大学)
- 9:55-10:20 2. 教育と福祉の協働を阻害するものはなにか
 —教員・派遣型スクールソーシャルワーカーへのインタビュー調査をもとに—
 藤本啓寛(早稲田大学大学院)
- 10:20-11:10 3. 子どもの「生活」をふまえた学校教育の再構築
 —幼児教育と小学校教育の比較をもとに—
 ○酒井朗(上智大学)
 ○伊藤秀樹(東京学芸大学)
 ○谷川夏実(明治学院大学)
 ○林明子(大妻女子大学)
- 11:10-12:00 総括討論

IV-11 部会

家族と教育（2）

9月4日（火）9：30-12：00

会場：1-410・411 教室

司会

山本宏樹（東京電機大学）

- 9：30-10：20 1. ポスト近代社会における子育て家族
—就学前後3年間の追跡調査から—
○敷田佳子（大阪教育大学（非常勤））
○前馬優策（大阪大学）
伊佐夏実（宝塚大学）
志田未来（大阪大学大学院）
野崎友花（大阪大学大学院）
金南咲季（愛知淑徳大学）
久保響子（元大阪大学大学院）
志水宏吉（大阪大学）
- 10：20-11：10 2. 保護者たちのディスタクシオン
—地方都市における子育て空間の分析—
○川口俊明（福岡教育大学）
○奥村美保（無所属）
- 11：10-11：35 3. 育児雑誌にみる神経政治
高橋均（北海道教育大学）
- 11：35-12：00 総括討論

IV－12部会

不登校

9月4日（火）9：30－12：00

会場：1-418 教室

司会

加藤美帆（東京外国語大学）

- 9：30－9：55 1. 不登校からの「回復」はいかに語られるか？
—フリースクール卒業生に着目して—
藤村晃成（広島大学大学院）
- 9：55－10：20 2. 「〈折り合い〉の語り」をめぐる諸問題
—母親当事者による不登校ナラティブの批判的検討—
水谷千景（京都大学大学院）
- 10：20－10：45 3. 「不登校」児童の学校と家庭間「行き来」駆動の可能性に関する検討
○笹倉千佳弘（滋賀短期大学）
井上寿美（大阪大谷大学）
- 10：45－11：10 4. 小学校教師としての奥地圭子
—教育雑誌『ひと』における記述に着目して—
田中佑弥（武庫川女子大学大学院）
- 11：10－11：35 5. フリースクール的な価値を基にした不登校支援の実際
—ソーシャルベンチャーNPO 団体が運営する教育支援センターを事例として—
竹中（井上）烈（愛知文教大学）
- 11：35－12：00 総括討論

IV-13 部会

計量教育社会学（2）

9月4日（火）9：30-12：00

会場：1-415 教室

司会

阿形健司（同志社大学）

- 9：30-9：55 1. 子どもの勉強の好き嫌いの変化とその要因
—JLSCP2015-2017 調査より—
○橋本尚美（ベネッセ教育総合研究所）
木村治生（ベネッセ教育総合研究所）
邵勤風（ベネッセ教育総合研究所）
岡部悟志（ベネッセ教育総合研究所）
- 9：55-10：20 2. 社会空間アプローチによる教育意識の分析
近藤博之（大阪大学）
- 10：20-10：45 3. 家計の学校外教育費支出構造の変化
都村間人（神戸学院大学）
- 10：45-11：10 4. 母子のパーソナル・ネットワークと学校生活への態度の関係
—中学生と母親パネル調査（JLPS-J）データを用いた分析—
石田賢示（東京大学）
- 11：10-12：00 総括討論

カリキュラムの社会学のこれからを問う

9月4日(火) 13:30-16:30

会場: 1-313 教室

【趣旨】

近年では、自明視されてきた学校の形態・カリキュラム・機能を、より広い学問的視野に立って批判的に捉え直す研究の必要性が高まっている。契機の一つとして、東北大震災と原発事故は、私たちがリスク社会の中にすでに生きていたことを気付かせた。だからこそ、何のために学ぶのが、今までとは異なる文脈からも問われてくる。私たちは、何のために、いかなる知識を生産し、伝え、教えるべきなのだろうか。M.F.D. ヤングによれば、「未来のカリキュラム」の概念は、未来の社会の概念、それを作りだし維持するためのスキル、知識、姿勢、そしてこのような社会を現実に可能なものとするような、知識の諸形態間の関係を含んでいる。それゆえに、カリキュラム論争は、異なる目的をめぐるものであり、私たちが期待する各々に多様な社会観をめぐる論争となる。

だが、このような視点からのカリキュラムの社会学は、しばらく課題研究のテーマにはなっていない。1990年代末頃より巻き起こった「学力低下」論争を契機に、学力の水準や階層間格差の変化には目が配られるようになってきた。一方でこの間、学力を測るための規準もたしかに変容してきた。たとえば、知識の活用力、応用力に重きをおいた「PISA 型学力」への転換が叫ばれるようになった。それでも、「何のための学力か」という学力の「質」「目的」「機能」にかかわる問題の検討は、いまだ不十分である。私たちがこのような国際学力調査が提示する学力を新しい国際標準とみなし、これに応じた学力を子どもに身につけさせようと終始している限り、学力評価の規準そのものを吟味し、根源的に問い直し、「未来のカリキュラム」を生み出し実践しようとする姿勢は希薄にならざるを得ない。そもそも、戦後日本社会が構想してきた「未来のカリキュラム」とは何だったのか。改正前の教育基本法を参照すると、「真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた」と表現されるような資質の育成が、教育の目的すなわち「人格の完成」の要素の一つとして明示されていた。ここには、民主主義社会の形成という未来の社会像が反映されていたように思われる。

このような目的は、戦後日本のカリキュラムにどのように具現化されてきたのか／されてこなかったのか。今の社会には、いかなる理念や目的に基づくカリキュラムが生まれているのか。諸外国のカリキュラムと比較社会的に検討すると、そこにはどのような特徴が見いだされるだろうか。本課題研究では、このような視点から教育の目的・カリキュラム・社会の形成の関係を検討したい。

司会：金子真理子（東京学芸大学）・岡本智周（早稲田大学）

報告1：澤田 稔（上智大学・非会員）

「批判的教育学に基づく“未来のカリキュラム”に関する一考察
—ボストンの公立校 Mission Hill School の事例から—

報告2：渡邊雅子（名古屋大学）

「〈共通善〉か〈個人の目的達成〉か
—カリキュラムの編成原理と思考表現スタイルの仏米比較—

報告3：山本雄二（関西大学）

「教育知と主体—歴史教科書への「慰安婦問題」記述を例に—

討論者：広田照幸（日本大学）

（研究委員：岡本智周・金子真理子・白松 賢・保田直美）

教育の社会科学の実証研究再考

—教育社会学と教育経済学の共通点と相違点から何を学ぶか—

9月4日（火）13：30-16：30

会場：1-415 教室

【趣旨】

1990年代後半の「格差社会」の議論の活発化以後、教育における不平等を経済的な格差から検討する関心が高まりをみせた。その後、PISAなどの国際的な学力調査、全国学力・学習状況調査の結果に基づき「学力低下」と「学力格差」が問題となり、いわゆる「教育格差」は研究者のみならず、広範な関心を集めるようになった。また近年では、少ない公的教育費と重い家計負担が問題となり、大学生の奨学金の拡充の検討、幼児教育無償化などの政策的な議論も活発化している。

教育と経済の関連については、教育社会学と教育経済学が多くの研究を蓄積してきた。社会学と経済学というバックグラウンドの違いをもとに、それぞれが独自の分析を進めるとともに、互いの研究成果を参照することで発展してきたともいえる。教育社会学は、学問の性質上、調査志向が強く、独自の調査データを用いて分析を行い、とりわけ「家庭環境の要因」を経済的、文化的、社会関係の側面から検討してきた。他方で教育経済学は、人的資本の蓄積という点で教育の効果に着目することに始まり、近年では政策志向を強め、実験的手法の導入など、因果分析への関心を強めている。このように、教育社会学と教育経済学は、相互に問題関心を共有しており、分析の方向性が重なり合う部分も多いものの、両者には分析の方向性で違いも存在する。

そこで本課題研究では、教育社会学と教育経済学の観点の共通点と相違点から、教育の社会科学の実証研究について再考してみたい。具体的には、両学問の最新の研究関心、分析テーマ、分析モデルなどについて実証研究の適用例などを通じてレビューしたうえで、今後の研究課題を模索したい。また、両学問にとって有益な情報を把握するための調査デザイン・調査方法なども検討しながら、応用可能性に開かれた議論としたい。

司会：都村闖人（神戸学院大学）・中澤 渉（大阪大学）

報告1：古田和久（新潟大学）

「教育社会学における実証分析の展開
—「社会階層と教育」の研究から—

報告2：妹尾 渉（国立教育政策研究所）

「教育経済学におけるエビデンス
—実証研究の経済学的射程と課題—

報告3：島 一則（東北大学）

「「経済の教育社会学」と「教育の経済学」の狭間で考える
—教育投資収益率研究に着目して—

討論者：篠崎武久（早稲田大学）

討論者：村澤昌崇（広島大学）

（研究委員：都村闖人・中澤 渉・丸山英樹）

アクティブラーニングの教育社会学

9月4日（火）13：30-16：30

会場：1-316 教室

【趣旨】

大学教育に「アクティブラーニング」の波が押し寄せている。1990年代から大学授業の改善は議論され始めていたが、「学力」を培う双方向的授業や学生の能動的な参加機会を促す授業の導入とそのための環境整備が提言され（中教審 2008「学力」答申）、まもなく「アクティブラーニング」（学修者の能動的な参加を取り入れた教授・学習法の総称、中教審 2012「質的転換」答申）が大学教育の目指すべき一つの旗印となり、それらはたとえば「大学教育再生加速プログラム」（2014-）のようなかたちで大学の教育現場に実質的な影響を及ぼし始めつつある。

このようなトップダウン式の大学改革の批判的な検討を試みることは、本課題研究の目的ではない。もちろん、そのような改革の潮流を無批判に受け入れるべきではないだろうが、双方向型の授業や学生の参加性を高める授業を、眼前の必要性などから教員自ら促進することはかなりありうることで、それによって教員自身が得ているものも小さくない。大学・学部によってばらつきはあると考えられるものの、少なくない大学教員がアクティブラーニング（的なもの）へ巻き込まれ、あるいは自ら飛び込んでいく状況は容易に回避できるものではないように思える。

だとすれば、「よい実践」のために私たちはわき目もふらず進んでいくべきだろうか。それも本課題研究の目的ではない。「よい実践」を追求することはそれ自体大事だが、そこに向かっていくことだけがアクティブラーニングへの向き合い方だろうか。方法論的な反省の学としての（教育）社会学にはそうでない向き合い方があるはずである。つまり、アクティブラーニングの潮流が押し寄せるなかで、私たちの教育・研究環境において一体何が起こっているのかを考えることが、教育社会学には特にできるはずである。たとえば、その潮流のなかで形成され、あるいは強固になる意味世界は一体何なのか。そこにはどのような資本が持ち込まれ、効果を発揮し、その価値を高めることになるのか。「よい実践」からあえて距離をとり、理論的および経験的な観点からアクティブラーニングの隆盛という現象について考え、それを理解するための共通言語を作る、あるいはその手がかりを得ること。これが本課題研究の狙いである。

司会：牧野智和（大妻女子大学）

報告1：井上義和（帝京大学）

「コミュニケーションからファシリテーションへ
—アクティブラーニングの社会理論の試み—」

報告2：小方直幸（東京大学）

「高等教育政策とアクティブラーニング」

報告3：濱中義隆（国立教育政策研究所）

「全国学生調査に見るアクティブラーニング」

討論者：松下慶太（実践女子大学・非会員）

討論者：下司 晶（日本大学・非会員）

（研究委員：井上義和・浦田広朗・大内裕和・鶴田真紀・寺崎里水・牧野智和）

大学生からのグループ・ディスカッション入門
中野美香 著
グループ・ディスカッションのスキルを具体的に高める。1900円

大学における海外体験学習への挑戦
子島進・藤原孝章 編
様々なプログラムを分析し、よりよい実践をめざす。2800円

大学教育における教員の省察
持続可能な教授活動改善の理論と実践
大山牧子 著
行動の指針を得るために。3200円

アクティブラーニング型授業としての反転授業
森 朋子・溝上慎一 編
大学の反転授業の取組をまとめた必携書〔理論編・実践編〕各2600円

ワークで学ぶ教育学
井藤 元 編
正しい教育とは何か、良い先生とはどんな先生か、ワーク課題を通じて創造的思考を養う。2600円

ワークで学ぶ就職概論
井藤 元 編
教師になるとはどういうことか、理想の教師像とは何か、ワーク課題を通じて「教育観」を磨く。2500円

ライト・アクティブラーニングのすすめ
橋本 勝 編
教員・学生・職員・市民それぞれのアクティブラーニング論。2200円

若者たちの海外就職
「グローバル人材」の現在
神谷浩夫・丹羽孝仁 編著
自らの意思で海外に移住し働く、日本人の実態を解明する。2700円

教職のための課題探究によるアクティブラーニング
谷田信一・西口文彦・金浩一・塩見剛 編
課題と向き合い、議論しながら学べる教職課程入門。2200円

高校・大学から仕事へのトランジション
渡上 容子・能力・アクティビティと教育
溝上慎一・松下佳代 編
分野を越境して議論する。2400円

ワークで学ぶ道徳教育
井藤 元 編
学校で道徳を教えられるのか、そもそも道徳とは何か。ワーク課題を通じて、道徳を考える。2600円

ワークで学ぶ教育課程論
尾崎博美・井藤 元 編
授業はどうやってつくるのか、そもそも教育課程とは何か。授業をつくる立場へと転換する。2600円

道徳教育のキソキソ
道徳科の授業をはじめめる人へ
相澤伸幸・柚代健彦 編
教職課程コアカリキュラムに対応したテキスト。2000円

大学における多文化体験学習の実践
国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する。村田晶子 編著
教育デザインと学びの意義。2900円

教育現場の「コンピテンシー評価」
「見えない能力」の評価を考える
渡部信一 編著
多様な評価方法に学ぶ。2400円

チームで取り組む生徒指導・教育相談
事例を通して深く学ぶ。考える
石美智子 著
好評テキストの新装版。2700円

就活女子
ツカダモデル 編著
タイプで異なる17名のこく、かつうの女子大生のそれぞれの就活、そのリアルな裏側をみる。1500円

シユタイナー教育思想の再構築
衛藤吉則 著
その字問としての妥当性を問う
その教育思想の全体構造と学理論的な妥当性を解明する。4800円

現代社会と教育の構造変容
西川信廣・山本智也 編
現代の社会構造によって変わる学校教育を論じる。2300円

大学初年次における日本語教育の実践
大学における学習支援への挑戦3
仲道雅博・山下由美子・湯川治敬 他
全学的な実践を紹介。2300円

テストは何を測るのか
項目反応理論の考え方
光永俊彦 著
公平なテストのための理論とその実施法をわかりやすく解説。3500円

教師の協同を創る校内研修
チーム学校の核づくり
杉江修治・水谷 茂 著
活気あふれる学校へ。1800円

わたちの翼
アジア初期近代における女性のリテラシーと境界侵犯的行動
青木恵理子 編
様々な分野から捉え直す。3600円

反「大学改革」論
若手からの問題提起
藤本夕衣・古川雄嗣・渡邊浩一 編
より望ましい方向性を模索しながら未来の展望を切り開く。2400円



Partner with Springer Education & Language and Publish with Confidence

Springer Education & Language includes a comprehensive range of authoritative books, journals, and reference works covering key areas including higher education, learning and instruction, (applied) linguistics, mathematics education, professional & vocational education and science education. We invite you to explore our growing portfolio of education & language titles and find out more about the benefits of publishing with Springer.



Lawrence Liu
Senior Editor
Education, South-East
and East Asia
Lawrence.Liu@springer.com

Contact
us!



facebook.com/SpringerEducation



[@SpringerEdu](https://twitter.com/SpringerEdu)

Part of **SPRINGER NATURE**

ベネッセの調査・研究活動

ベネッセ教育総合研究所では、子どもたちのよりよい生活や育ちの環境、学習のあり方を追究していくために、子育て・教育のさまざまな側面に焦点をあてて調査・研究を行っています。

■ 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究 「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2017」速報版

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、2014年に、全国の小学1年生～高校3年生の子どもとその保護者約2万1千組の調査モニターを対象に、毎年1回以上の定期的な調査(親子パネル調査)を実施する共同研究プロジェクトを発足しました。

本速報版では、12学年の子ども「人間関係・価値観」の実態を明らかにしました。今後も毎年、同じ子どもと保護者を調査し、子どもの生活や学習、保護者の子育ての様子など、親子の「成長・発達」とその因果関係を明らかにしていきます。



■ ベネッセ教育総合研究所・朝日新聞社共同調査 「学校教育に対する保護者の意識調査2018」ダイジェスト版

ベネッセ教育総合研究所は朝日新聞社と共同で、2017年12月～2018年1月にかけて、全国の公立小学校2年生・5年生、公立中学校2年生をもつ保護者を対象に「学校教育に対する保護者の意識調査2018」を実施しました。本調査は2004年、2008年、2013年にも調査を実施しており、14年間の保護者の学校教育に対する意識の変化を捉えることができます。



ベネッセ教育総合研究所で実施している各調査結果は、以下のウェブサイトにてご覧いただく、報告書などのタイトルでご検索ください。* 調査報告書の販売はしておりません。ご了承ください。

<https://berd.benesse.jp/>

教育社会学事典

日本教育社会学会 編

A5判・910頁 定価(本体 22,000円+税) ISBN978-4-621-30233-0

初学者から研究者にいたるまで、
幅広い読者のニーズに応えた中項目事典

- ◆1項目見開き2ページまたは4ページ完結で、どこからでも興味深く読める。
- ◆253名の専門家による最新書き下ろし。
- ◆厳選された325項目を通して、教育社会学の重要ポイント・イシューを眺望することができる。

主要目次

第I部 教育社会学の理論

第1章 教育社会学の学習的性格/第2章 教育社会学の歴史/第3章 理論/第4章 海外の教育社会学

第II部 教育社会学の方法

第1章 計量分析/第2章 質的分析

第III部 教育社会学の研究領域

第1章 社会化と人間形成/第2章 家族/第3章 ジェンダーと教育/第4章 初等・中等教育/第5章 教師/第6章 高等教育/第7章 生涯学習と地域社会/第8章 教育問題/第9章 階層と教育/第10章 教育と経済/第11章 教育政策/第12章 メディアと教育/第13章 グローバリゼーションと教育

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階 書籍営業部 TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270
<https://www.maruzen-publishing.co.jp>

アメリカの大学スポーツ

——腐敗の構図と改革への道

ジェラルド・ガーニー ドナ・ロピアノ 他著
宮田由紀夫 訳

日本版NCAA設立が議論される中、本家の問題点を検証しつつ、教育活動としてのスポーツを取り戻す方策を具体的に提案する最新書。

A5判上製・324頁 本体4,200円

大学教育再生とは何か

——大学教授職の日米比較

有本章 著

中世の大学から近代の大学に至る歴史に学びつつ、米国と比較した日本の大学や大学教授職の現状と課題を社会的に分析する。

A5判上製・592頁 本体6,200円

専門職としての教師教育者

——教師を育てるひとの役割、行動と成長

ミーケ・ルーネンベルク ユリエン・デンヘルク 他著
武田信子 山辺恵理子 監訳

働き方、学びの支援の方法など、過去20年間の各国の教師教育者の専門性開発に関する先行研究を網羅的に紹介。

A5判並製・216頁 本体2,800円

高等教育の社会学

パトリシア・J・ガンポート 編著

伊藤彰浩、橋本鉱市、阿曾沼明裕 監訳

バートン・クラークの論文を出発点とし、アメリカの高等教育の動向を社会的に研究。15名の第一線の研究者が今後の課題や展望を示す。

A5判上製・480頁 本体5,400円

玉川大学出版部

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940 [価格税別]

月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、四四八円＋税

2018年 特集

7・8月合併号 改めて問う、深い学びとは

6月号 学校における働き方改革を探る

5月号 子どものいじめ・自殺問題と学校教育

4月号 新しい学校文化の創造

3月号 新学習指導要領から見える新しい授業像

1・2月合併号 明日をみざす日本の教育像

2017年 特集

12月号 第46回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第46回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 新学習指導要領とこれからの情報教育の展望

9月号 新教育課程が求める教師力

7・8月合併号 改めて問う「学び方・教え方」の視座

6月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか2

5月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか1

4月号 新学習指導要領への対応

3月号 次期学習指導要領答申を読み解く

1・2月合併号 次期学習指導要領から日本の教育を展望する

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判、二三八―四一頁＋税

No.50 (第47回教育展望セミナー) (予定) 2018年7月発行、124頁

資質・能力を育成する教育課程の編成と実施 II

No.49 (第46回教育展望セミナー) 2017年7月発行、124頁

資質・能力を育成する教育課程の編成と実施

一般財団法人

教育調査研究所

[理事長 新井郁男]

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975
E-Mail: chouken@estate.ocn.ne.jp

日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ編
教育勅語と学校教育

◎ 教育勅語の教材使用問題をどう考えるか 2400円

岩田一正 (メディアが形成する教育に関する意識空間——教育メディア空間がどのような機能をもたせ、いかを形作る規範的期待) 2400円

教育メディア空間の言説実践 3600円

◎ 明治後期から昭和初期までの教育問題の構成

谷川至孝 (福祉国家でもない、ニューライト国家でもない、新しい国家・社会像とは、子どもが育つために取組んだ英国労働党政権が展望した未来の教育政策) 3900円

英国労働党の教育政策「第三の道」 3400円

◎ 教育と福祉の連携

平井悠介 (九〇年代のシテイズンシップ教育論の関心の高まりが意味するものは、社会政策等という視点からシティズンシップ教育論の地平を拓ける) 3400円

エイミー・ガットマンの教育理論 3400円

◎ 現代アメリカ教育哲学における平等論の変容

大田直子 現代イギリス「品質保証国家」の教育改革 2400円

広田照幸・宮寺晃未 編 教育システムと社会 3600円

◎ の理論的検討

広田照幸 格差・秩序不安と教育 3600円

平井秀幸 (日本社会心理学学会奨励賞) 刑務所処遇の社会学 6200円

◎ 認知行動療法・新自由主義的規律・統治性

北村和夫 オートポイエーシスとしての近代学校 4200円

◎ その構造と作動パターン

下司晶 編 「甘えと「自律」の教育学 2600円

◎ ケア・道徳・関係性

A・H・ハルゼー・潮木守一 訳 教育メディア空間の言説実践 3600円

◎ 科学の学のはざままで

是澤博昭 軍国少年少女の誕生とメディア 2800円

◎ 子ども達の日常雑交流

吉川卓治 「子ども銀行」の社会史 2400円

◎ 学校貯金の近現代

岡田敬司 共生社会への教育学 2400円

◎ 自律・異文化葛藤・共生



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644
 seori@nifty.com http://seorishobo.com (税抜)

現代高校生の 学習と進路

高校の「常識」はどう変わってきたか？

■ 樋田大二郎・荻谷剛彦・堀健志・大多和直樹 編著
 ● 定価(本体二〇〇〇円十税) / A5判・144頁

高校や高校生の意識はどう変わってきたのか。30年のデータを元に、政策の影響、高校生自身の成績、保護者や学校の意識など多様な切り口で迫る。

- 序章 変わる高校生生活と地位達成の仕組み
 —メリトクラシーとトランキング構造のその後—
- 第1章 高校生の希望進路の変容
- 第2章 高校生の大学進学希望と親の教育期待
- 第3章 高校トランキングにみたメリトクラシー的選抜とメリトクラシー規範
- 第4章 学業成績と自己有能感—高校生は業績主義的競争から離脱しているのか—
- 第5章 教師生徒関係と「教育」の意味変容
 —教師の生徒に対するまなざしの変化からみえてくるもの—
- 第6章 生徒と学校の関係はどう変化したか
- 第7章 日本とシンガポールにおける高校教師の仕事の違い
- 第8章 高校生は自分の成績をどうみているか
- 第9章 業績主義的選抜の二重の罠—限界集落とマンツマンの難民—
- 第10章 多様化の中の質保証—高校教育政策の新局面—



有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

◎ 図書目録送呈 ◎

社会学入門

(有斐閣ストゥディア)
一九〇〇円

筒井淳也・前田泰樹著◎社会とのかかわり方

はじめてのジエンダー論

(有斐閣ストゥディア) 二八〇〇円

加藤秀一著

質的社会調査の方法

(有斐閣ストゥディア)

◎ 他者の合理性の理解社会学

一九〇〇円

現代社会学論

(有斐閣ストゥディア)
一八〇〇円

本田田紀編◎社会学で探る私たちの生き方

殻を突き破るキャリアデザイン

筒井美紀著

◎ 就活・将来の思い込みを解いて自由に生きる

四六判 一七〇〇円

ファッションで社会学する

藤田結子・成美弘至・辻 泉編

四六判 二三〇〇円

社会学の力

友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編◎最重要概念・命題集

A5判 一五〇〇円

教育の社会学新版

菊谷剛彦・濱名陽子・木村凉子・酒井 朗著

◎ 常識の問い方、見直し方 ★電子書籍版もあります

(有斐閣アルマ)
二〇〇〇円

園山大祐 編著

A5判上製336頁 本体4400円 ISBN978-4-326-60296-2

フランスの社会階層と進路選択

学校制度からの排除と自己選抜のメカニズム

河野銀子 編著

四六判上製288頁 本体2800円 ISBN978-4-326-65114-9

女性校長はなぜ増えないのか

管理職養成システム改革の課題

教員のキャリア形成や管理職養成に関する教育政策の行く末を問う。

武 千晴

A5判上製1152頁 本体18000円 ISBN978-4-326-70105-6

児童自立支援施設の歴史と実践

子育て・子育てを志向する共生理念

申田秀也・平本 毅・林 誠

A5判上製352頁 本体3200円 ISBN978-4-326-60296-1

会話分析入門

人と人のやりとりを厳密に分析する会話分析。待望の入門書刊行!

小玉重夫

四六判上製240頁 本体2900円 ISBN978-4-326-62911-9

教育政治学を拓く

18歳選挙権の時代を見すえて

教育の再政治化を視野に入れた、新たな教育学の方向性を提示する。

佐藤隆之

市民を育てる学校

アメリカ力進歩主義教育の実験

コロンビア大学附属学校の実践を繙き「市民性教育」の源流に迫る。

久富善之・長谷川裕・福島裕敏 編著

教師の責任と教職倫理

全国10の地域と震災被災地の教師への質問紙調査による実証分析。

※ 近刊

* 表示価格は税抜



けい しょう 書房

<http://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

グローバル・ランキングと 高等教育の再構築

● 世界クラスの大学をめぐる熾烈な競争
● エレン・ハイセル・トーン 著 永田雅啓・アケセル・カーヘンシタイン 訳

A5判 * 434頁
定価4860円



「学校教育と社会」ノート 第2版

● 教育社会学への誘い
● 山内乾史 著

A5判 * 184頁
定価1944円



新版 教育社会とジェンダー

● 河野銀子・藤田由美子 編著

A5判 * 208頁
定価2268円



LGBTと女子大学

● 誰もが自分らしく輝ける大学を目指して
● 日本女子大学人間社会学部LGBT研究会 編

A5判 * 64頁
定価1080円



保育者の危機と専門的成長

● 幼稚園教員の初期キャリアに関する質的研究
● 谷川夏実 著

A5判 * 176頁
定価3456円



理系就職のための教育入門

● 東野充成・谷田川ルミ 編著

A5判 * 200頁
定価2268円



女性・人権・生きること

● 過去を知り未来をひらく
● 天童睦子 著

A5判 * 96頁
定価1080円



教師の声を聴く

● 教職のジェンダー研究からフェミニズム教育へ
● 浅井幸子・黒田友紀・杉山二季・玉城久美子
● 柴田万里子 望月一枝 編著

46判 * 384頁
定価3456円



比較教育社会学への イマージュ

● 原清治・山内乾史・杉本均 編著

A5判 * 264頁
定価2376円



男子問題の時代？

● 錯綜するジェンダーと教育のポリティクス
● 多賀太 著

46判 * 240頁
定価2376円



教育の基礎と展開 第二版

—豊かな保育・教育のつながりをめざして
● 高野良子・武内清 編著 A5判 * 200頁▼定価2160円

学修支援と高等教育の質保証Ⅰ

● 山内乾史 編著 四六判 * 208頁▼定価2268円

学修支援と高等教育の質保証Ⅱ

● 山内乾史・武寛子 編著 四六判 * 234頁▼定価2484円

大学生のキャリアとジェンダー

● 谷田川ルミ 著 A5判 * 196頁▼定価2916円

教師のための教育学シリーズ
教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

⑩ 生徒指導・進路指導

● 林尚示・伊藤秀樹 編著 A5判 * 226頁▼定価2376円

⑪ 子どもと教育と社会

● 腰越滋 編著 A5判 * 202頁▼定価2268円

教育社会学 第二版 教師教育テキストシリーズ5

● 久富善之・長谷川裕 編 A5判 (近刊)

カリキュラム・マネジメントと授業の質保証

—各国の事例の比較から— 原田信之編著 A5・244頁・本体2700円＋税 知識基盤社会の到来により、教え方や学び方の質をどう転換するかが問われている。日・米・英・独・仏・芬・香港・星の8ヵ国において、授業の質向上のための改革を紹介。各国事例から組織的・計画的な取り組みを抽出、分析することで、カリキュラム・マネジメントの内実を追える。

中学生の数学嫌いは本当なのか

—証拠に基づく教育のスズメ— 内田昭利・守一雄著 四六・256頁・本体2200円＋税 中学生の4割以上は「数学嫌い」であるという調査結果は、本当に「科学的」であると言えるか。「潜在迷想」という視点から実証的に生徒のホンネに迫り、「隠表〇〇嫌い」の検出と救出を試みる。中学校教諭と教育心理学者による「教育の科学化」への挑戦。

北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

SNSカウンセリング入門

—LINEによるいじめ・自殺予防相談の実例— 杉原保史・宮田智基著 四六・184頁・本体1800円＋税 SNSは、自殺やいじめ等に関与する若年層の支援で活用が期待されている。その一方で支援者は新たなツールに戸惑うことも多い。行政初のLINE相談事業の取り組みを示し、その経緯を伝える。若年層の悩みへ近づくと扉を開き、SNS相談支援へと誘う。

リーダーシップ教育のフロンティア [研究編]

—高校生・大学生・社会人を成長させる「全員発揮のリーダーシップ」— 中原 淳監修 籠野泰一・高橋俊之編著 A5・208頁・本体2400円＋税 次世代のリーダー育成はどうあるべきか。本書では、リーダーシップを学習により誰でも獲得できると提言。研究と開発、理論と実践、企業と大学相互の視点を整理し、求められる枠組と教育手法の構築を試みる。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事 [全20巻]

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160～220頁・子価2000～2600円＋税

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

◀好評発売中▶

自己成長を目指す教職実践演習テキスト
原田恵理子・森山賢一編著 B5判 1600円
現代日本の教育を考える——理念と現実 [第3版]
岩本俊郎・浪本勝年編著 A5判 1400円
現代日本の教師を考える [改訂版]
岩本俊郎・浪本勝年編著 A5判 1300円

教養としての教育学
藤原政行 編著 A5判 1900円
未来を創る教育制度論 [改訂版]
川口洋蒼・中山弘之 編著 A5判 2100円
子どもと教育の未来を考えるⅡ
岡部美香 編著 A5判 2200円
短期大学教育の新たな地平
安部恵美子・南里悦史 編著
短期大学再生の途を探る「短期大学コンソーシアム九州」の足跡と成果。教育内容・方法の改善事例を紹介。 A5上 2400円



◀新刊案内▶

教師のメソッドロジー
北澤毅・間山広朗 編著
社会的に教育実践を創るために
小学校を中心とした教育実践に対する社会学の貢献と、社会的な教育実践を具体的なデータをもとに示す。 A5判 2100円
変動社会と子どもたちの発達
教育社会学入門
住田正樹・高島秀樹 編著 A5判 2100円
子どもたちの発達過程とその社会的・文化的条件を発達の観点から考察
教師と学生が知っておくべき教育動向
武田明典 編著 B5判 1800円
教育実践・研究の最新動向。教免更新講習の文科省内容基準にも対応。



北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-2-6 http://www.hokujin.jp (価格税別)
TEL 03-3715-1525 FAX 03-5720-1488 E-Mail eigyo1@hokujin.jp

子どもの貧困対策と教育支援

より良い政策・連携・協働のために 未富芳 編著 ○2600円

子どもの貧困と教育の無償化

学校現場の実態と財源問題 中村文夫 著 ○2700円

入門 貧困論

ささえあう／たすけあう社会をつくるために
金子充 著 ○2500円

シングル女性の貧困

非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援
小杉礼子・鈴木晶子・野依智子・横浜市男女共同参画推進協会 編著 ○2500円

移動する人々と国民国家

ポスト・グローバル化時代における市民社会の変容
杉村美紀 編著 ○2700円

ヒューマンライブラリー

多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究
坪井健・横田雅弘・工藤和宏 編著 ○2600円

18歳成人社会ハンドブック

制度改革と教育の課題 田中治彦 編著 ○2500円

社会情動的スキル 学びに向かう力

経済協力開発機構(OECD) 編著 ○3600円
ベネッセ教育総合研究所 企画・制作 無藤隆、秋田喜代美 監訳

3000万語の格差

赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ
ダナ・サスキンド 著 掛札逸美 訳 高山静子 解説 ○1800円

国際バカロレアの挑戦

グローバル時代の世界標準プログラム
岩崎久美子 編著 ○3600円

現代フランスの教育改革

フランス教育学会 編 ○5800円

多文化教育の国際比較

世界10カ国の教育政策と移民政策
松尾知明 著 ○2300円

世界の移民政策

OECD国際移民
アウトLOOK(2016年版)
経済協力開発機構(OECD) 編著 ○6800円

図表でみる教育

OECDインディケーター
(2017年版)
経済協力開発機構(OECD) 編著 ○8600円

明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5 *目録送呈
<http://www.akashi.co.jp/> 振替00100-7-24505

TEL. 03-5818-1171
FAX. 03-5818-1174

的確に社会を読みとり、課題に挑む

社会と調査

No.20 特集 メディアが実施する調査の変遷

特集「メディアが実施する調査の変遷」にあたって 荒牧央・佐藤寧
朝日新聞世論調査の70年 江口達也
毎日新聞読書世論調査の軌跡 大隈慎吾
NHKにおける調査方式の変遷 小野寺典子
民放テレビにこつての視聴率 渡邊久哲
調査手法を変えるということ 松田映二

鈴木哲久・藤後悦子・大橋 恵・井梅由美子・岩崎雅宏・大倉祐二・小西公大/
吉崎雅基・高倉文・帯谷博明・野沢慎司・浅川達人・萩原里紗・野崎華世・土屋隆裕/
朝野照彦・友枝敏雄・新 睦人・三輪洋文・高野和良・山下亜紀子・直野章子・金 明秀/
原 純輔・中澤 淳・横 純子・松本 涉・李 容玲

購入方法『社会と調査』は年2回発売(3月,9月)

- 1 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。
発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。
- 2 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。
※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。
※社会調査協会では販売を行っていません。



定価 本体 1,200円+税

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会

東京都文京区本郷 5-25-18 メゾン 鈴博 3F (113-0033)
TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374
<http://jas.or.jp/>

入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

制作・販売 株式会社 京都通信社

京都市中京区室町通御池上る御池之町 309 (604-0022)
TEL: 075-211-2340 Mail: shigotoba@kyoto-info.com
<http://www.kyoto-info.com/>

書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。



第14回 児童教育実践についての 研究助成

応募受付開始

2018年7月2日(月)～10月31日(水)

Webにて応募受付、詳しくは博報財団ホームページをご覧ください

<http://www.hakuhofoundation.or.jp>

対象となる研究

- 「ことばの教育」に関する研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

応募資格

- 日本の大学・研究機関に所属する研究者
(教授職は除く)
- 日本の学校・教育委員会に所属する
教育実践に携わる方
※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です

助成金額

- 1件につき300万円を限度に助成します

助成期間

- 2019年4月1日～2020年3月31日
期間終了後、希望する場合は、継続助成の申請をすることができます

【審査委員】(五十音順)

楠見	孝	京都在学大学院	教授
針生	悦子	東京大学大学院	教授
藤森	裕治	信州大学	教授
本郷	一夫	東北大学大学院	教授(審査委員長)
横山	詔一	国立国語研究所	教授

公益財団法人
博報児童教育振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT 新館8階 TEL.03-5570-5008 FAX.03-5570-5016

SAGE質的研究キット 第2版 (全10巻)

THE SAGE QUALITATIVE RESEARCH KIT

Collection, Second Edition, Ten-Volume Set



Edited by **Uwe Flick**

2017 | 9781446298725 | £250.00

1. Designing Qualitative Research
2. Doing Interviews
3. Doing Ethnography
4. Doing Focus Groups
5. Using Visual Data in Qualitative Research
6. Analyzing Qualitative Data
7. Doing Conversation, Discourse and Document Analysis
8. Doing Grounded Theory **NEW!**
9. Doing Triangulation and Mixed Methods **NEW!**
10. Managing Quality in Qualitative Research

※各巻分売可。詳細はウェブサイトもしくは日本支社まで。

無料トライアル・内容のお問い合わせは以下までお願いいたします。

セイジ・パブリケーションズ日本支社

Email: sagejapan@sagepub.co.uk / Twitter: @sagepubjapan /

www.sagepublishing.com



SAGE researchmethods

SAGE Research Methodsは、社会調査法のデータベースとラーニングシステムの一体型オンラインリソースです。社会科学分野を中心に、約770の研究手法に沿った学術書・ケーススタディ・データ・動画などの20万ページ以上の電子資料のほか、研究計画ツールなど研究を段階的にサポートする機能も搭載しています。研究に欠かせない社会調査法についての理解を深め、学生のアクティブラーニング推進や、研究者の研究成果・論文の質の向上、大学の国際化に役立ちます。

- ツール：研究手法の関連図Methods Mapや、研究計画・管理のProject Plannerなど
- 書籍・論文：質/量的調査法の定番テキスト *Little Green/Blue Books* など
- ビデオ：理論解説、実践方法、インタビューなど130時間分を収録
- ケース：手法の選択や課題の解決法の実際の応用例
- データ：データ分析について学習できる実践型データセット

 methods.sagepub.com



最新刊 **検証 国立大学法人化と大学の責任**
—その制定過程と大学自立への構想
田中弘允・佐藤博明・田原博人著 A5・上製・五二八頁・四八〇〇円

最新刊 **ネオリベラル期教育の思想と構造**
—書き換えられた教育の原理
福田誠治著 A5・上製・六六四頁・六二〇〇円

最新刊 **リベラル・アーツの源泉を訪ねて**
絹川正吉著 A5・上製・二六四頁・三二〇〇円

最新刊 **教育と比較の眼**
江原武一著 四六・上製・二七二頁・二六〇〇円

最新刊 **グローバル社会における日本の大学教育**
—全国大学調査からみえてきた現状と課題
河合塾編著 A5・並製・四七二頁・三八〇〇円

最新刊 **大学経営・政策入門**
東京大学大学院教育学部研究科大学経営・政策コース編
A5・並製・二七二頁・二四〇〇円

最新刊 **国立大学職員の人事システム**
—管理職への
渡辺恵子著 A5・上製・三六〇頁・四二〇〇円
実態調査、思想、認識
論からのアプローチ
北野秋男・下司晶・小笠原喜康著 A5・上製・二七二頁・二七〇〇円

最新刊 **現代学力テスト批判**
—小中学生への追跡的学力調査結果の示すもの
中西啓喜著 A5・上製・一七六頁・二四〇〇円

最新刊 **主体的・対話的で深い学びの環境とICT**
—アクティブラーニングによる資質・能力の育成
久保田賢一・今野貴之編著 A5・並製・二四八頁・三三〇〇円

最新刊 **リーディングス比較教育学 地域研究**
—多様性の教育へ
近藤孝弘・中矢礼美・西野節男編著 A5・上製・三六八頁・三七〇〇円

最新刊 **学生エリート養成プログラム**
—日本・アメリカ・中国
北垣郁雄編著 A5・上製・三三八頁・三六〇〇円

最新刊 **高等教育機会の地域格差**
—地方における高校生の大学進学行動
朴澤泰男著 A5・上製・三九二頁・五六〇〇円

最新刊 **カレッジ(アン)バウンド**
—米国高等教育の現状と
J・セリンゴ著 船守美穂訳 A5・上製・三一二頁・三四〇〇円

最新刊 **米国高等教育の拡大する個人寄付**
福井文威著 A5・上製・三〇四頁・三六〇〇円

最新刊 **アメリカ公立学校の社会史**
—「コモンスクール」から
W・J・リース著 浅沼茂・小川佳万監訳 A5・上製・五二八頁・四六〇〇円
NCIEB法まで

最新刊 **社会を創る市民の教育**
—シッパ教育の実践
大友秀明・桐谷正信編著 A5・並製・二七二頁・二五〇〇円

最新刊 **成人教育の社会学**
—パワー・アクト・ライフコース
高橋満編著 A5・上製・三四四頁・三二〇〇円

最新刊 **多様性と向きあうカナダの学校**
—移民社会が
目指す教育
児玉奈々著 A5・上製・二六頁・二八〇〇円

最新刊 **アセアン共同体の市民性教育**
平田利文編著 A5・上製・三五一頁・三七〇〇円

ピア・パワー 子どもの仲間集団の社会学

P. A. アドラー & P. アドラー
住田正樹 監訳 A5判 454頁 4,000円

子ども社会学の現在

いじめ・問題行動・育児不安の構造
住田正樹 A5判 328頁 3,800円

リトルリーグの社会学

前青年期のサブカルチャー
G.A. ファイン/住田正樹 監訳 A5判 360頁 3,800円

子どもたちの「居場所」と 対人的世界の現在

住田正樹・南 博文 編 A5判 476頁 6,000円

地域社会と教育

子どもの発達と地域社会
住田正樹 A5判 398頁 5,700円

思考する歴史教育への挑戦

暗記型か、思考型か、揺れるアメリカ 〈新刊〉
川上具美 A5判 340頁 3,600円

移民とドイツ社会をつなぐ教育支援

異文化間教育の視点から
伊藤亜希子 A5判 274頁 4,200円

教育社会学 第三のソリューション

AH.ハルゼー/H.ローター/P.ブラウン/AS.ウェルズ 編
住田・秋永・吉本 編訳 A5判 672頁 8,700円

新版 現代の社会教育と生涯学習

松田武雄 編著 A5判 272頁 2,800円

子どものワークショップと体験理解

感性的な視点からの実践研究のアプローチ
笠原広一 A5判 250頁 2,800円

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-8-34-305
TEL: 092-833-9150 FAX: 092-833-9160 《価格税別》

九州大学出版会

2018年7月30日発行

発行者 日本教育社会学会 第70回大会実行委員会
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96
佛教大学教育学部・原清治研究室
E-mail: jses2018conference@gmail.com
TEL: 075-491-2141 (代表)

印刷所 よしみ工業株式会社

◆ 学会創設70年記念書き下ろし論集 ◆

教育社会学のフロンティア

A5判・並製カバー・本体各3200円

1 学問としての展開と課題

展開と課題

日本教育社会学会編

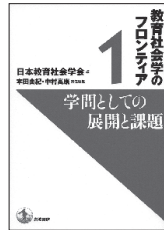
本田由紀・中村高康 責任編集

教育社会学の七〇年間の変化と成果、学問としての特徴、課題と展望を指し示す。「執筆者」広

田照幸、菊谷剛彦、矢野真和、

酒井朗、中澤渉、北澤毅、久富善之、今田絵里香、倉石

一郎、仁平典宏、岡本智周、木村元、筒井美紀。



2 変容する社会と教育のゆくえ

変容する社会と教育のゆくえ

日本教育社会学会編

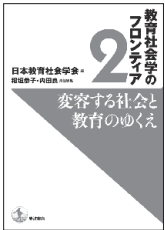
稲垣恭子・内田 良 責任編集

教育格差、メリトクラシー、若者と就職など、新たな研究課題と視角を探究する。「執筆者」荒

牧草平、平沢和司、堀有喜衣、

井上義和、伊藤茂樹、山田哲也、多賀太、古賀正義、元

森絵里子、片岡栄美、志水宏吉、山田浩之、加野芳正。



● 歴史的な転換点に立つ「教育」を根底から考える

岩波講座

教育

【編集長】
佐藤 学・秋田喜代美
志水宏吉・小玉重夫
北村友人

変革への展望

全7巻

複雑な現代社会で教育は重要性を増す一方、日本では過去のみならず、未来の改革の進むが現れている。未来の教育を見据え、「子ども」「教師」「学び」「学校」「シテイスンシップ」等を切り口にアカデミックな知見を提供する。



A5判・上製カバー・本体各3200円

1 教育の再定義

2 社会のなかの教育

3 変容する子どもとの関係

4 学びの専門家としての教師

5 学びとカリキュラム

6 学校のポリテイクス

7 グローバル時代の市民形成

[定価は表示価格+税]

岩波書店



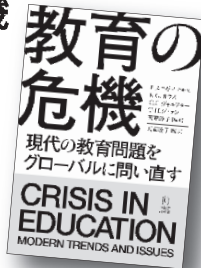
〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
<http://www.iwanami.co.jp/>

教育の危機

現代の教育問題を
グローバルに問い直す

P. カロギアナキス 著
K. G. カラス 著
C. C. ウォルファター 著
T-H. ジェアン 著
天童 陸子 著 / 編訳

出版年月：2017年03月
384頁
本体価格4,600円



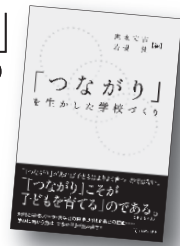
「正直に言おう。今、教育は、国の枠を超えて、
非常に困難な時を迎えている」 (マイケル・W.アップル)

現代の教育の危機の現状、そして正体とは。そして乗り越えるための手立てとは。教育社会学、批判的教育学、比較教育学、教育哲学など、教育領域の学問分野を横断し、世界レベルでの議論提起を行う。

「つながり」 を生かした学校づくり

志水宏吉・若槻健 編著

出版年月：2017年03月
272頁
本体価格2,000円



『「つながり」があれば子どもはよりよく育つ』のではない。
『「つながり」こそが子どもを育てる』のである。

子ども同士、教師と子ども、学校と地域、学校と保護者……7つの観点で「つながり」を生かした20校の挑戦から見えてくるのは、改めて「つながり」の重要性、そしてその「つながり」を育むための視点である。



東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号
TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208

70周年
東洋館出版社

新刊

医療者教育のビデオ・エスノグラフィー

若い学生・スタッフのコミュニケーション能力を育む
藤崎和彦 監修 / 椋田美雄 ほか 編著 ●2800円

女性教員のキャリア形成

楊川 著 ●5500円 女性学校管理職はどうすれば増えるのか？

現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題

布川あゆみ 著 ●7200円 進む学校の終焉化と問い直される役割分担のあり方

社会に開かれたカリキュラム

新学習指導要領に対応した教育課程論
石村卓也・伊藤朋子・浅田昇平 著 ●2900円

フローと再帰性の社会学

記号と空間の経済
スコット・ラッシュ / ジョン・アーリ 著 安達智史 監訳 ●4500円

イクメンじゃない「父親の子育て」

巽 真理子 著 ●2400円 現代日本における父親の男らしさと「ケアとしての子育て」
〈ケアとしての子育て〉

学習社会学の構想

赤尾勝己 編著 ●2600円

大学生のための社会学入門

日本学術会議
篠原清夫・栗田真樹 編著 ●2600円 参照基準対応

代替養育の社会学

施設擁護から(脱家族化)を問う
藤間公太 著 ●4000円

アカデミック・ライティングの基礎

西川真理子・橋本信子・山下香・石黒太・藤田里実 著

資料を活用して論理的な文章を書く
●1700円

学術図書出版

晃洋書房

京都市右京区西院北矢掛町七番地
TEL 075(312)0788 / FAX 075(312)7447 ※表示価格は税別